

平成28年度 地域、自治会・町内会、ご近所アンケート調査 実施結果報告書

1. 目的

市民が自治会・町内会に対してどのような意識を持っているかを把握し、自治会・町内会の加入促進策及び活性化方策を検討することを目的に次のとおりアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

(1)調査期間：2016年(平成28年)6月15日(水)～7月15日(金)

(2)対象者：満20歳以上の無作為に抽出をした市民3,000人

(3)調査方法：依頼文及びアンケート用紙を郵送。同封した返信用封筒を使用してもらう形で回収。

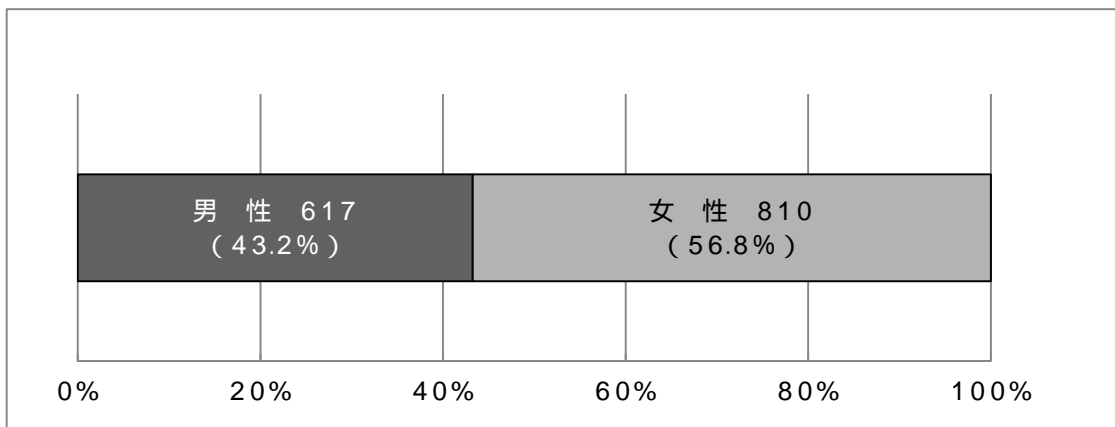
(4)回収状況：3,000人中、1,438通を回収。回収率約47.9%。

(5)付記：一般的に統計を取って傾向を把握するためには3,000件のサンプルが必要であると言われていています。今回の調査ではその1/2以下のサンプルを元に分析を行っており、そのことを念頭に置きながら結果を受け止めることが必要と考えます。また、端数処理により、必ずしもパーセンテージの合計が100%とならない場合があることにご留意ください。

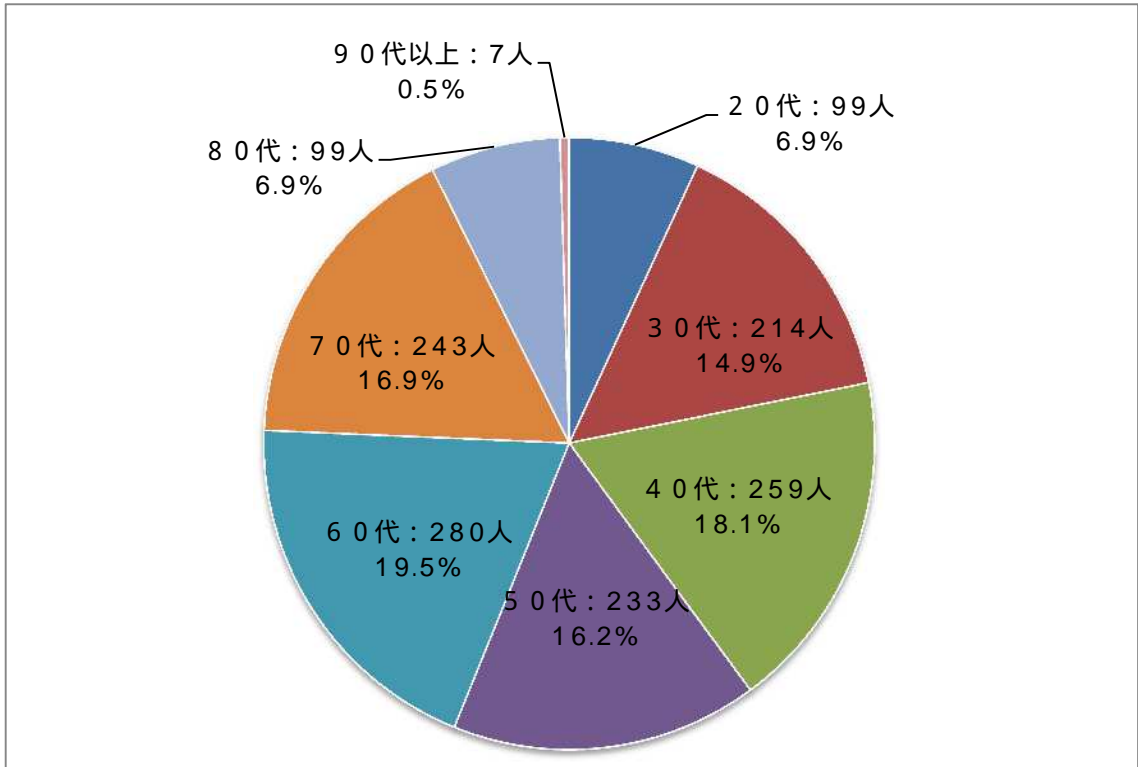
3. 単純集計結果

(1) 基本情報

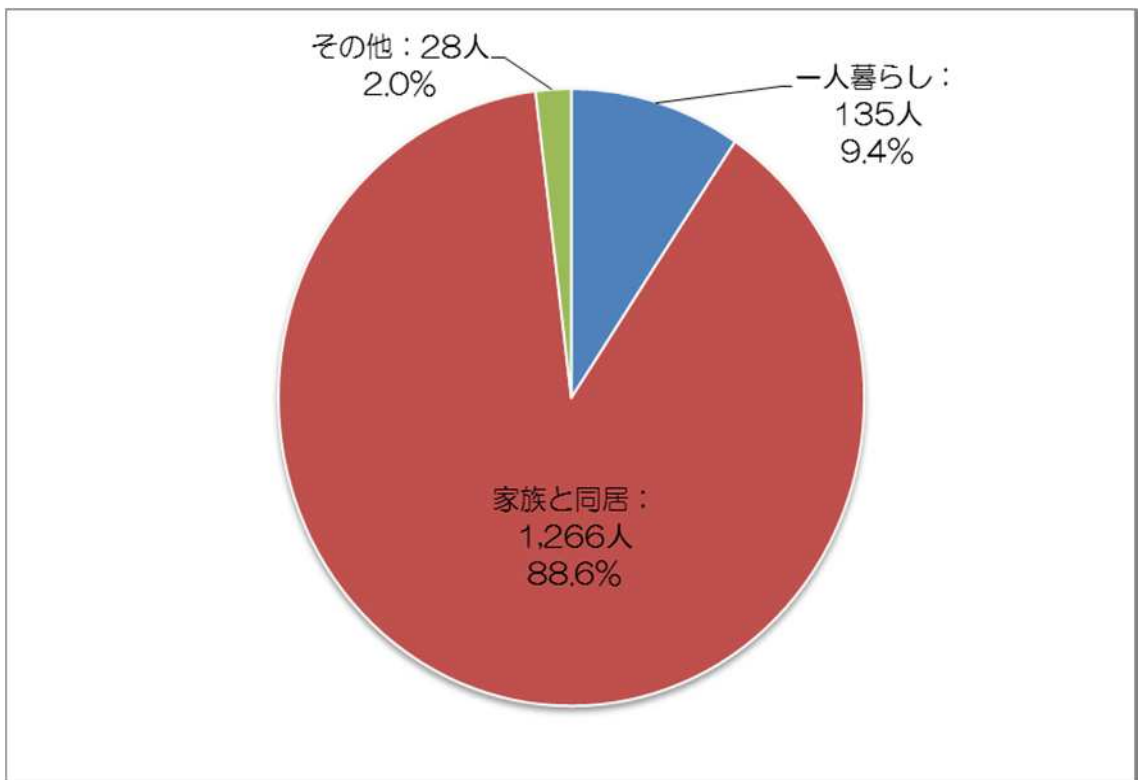
性別【n=1,427】



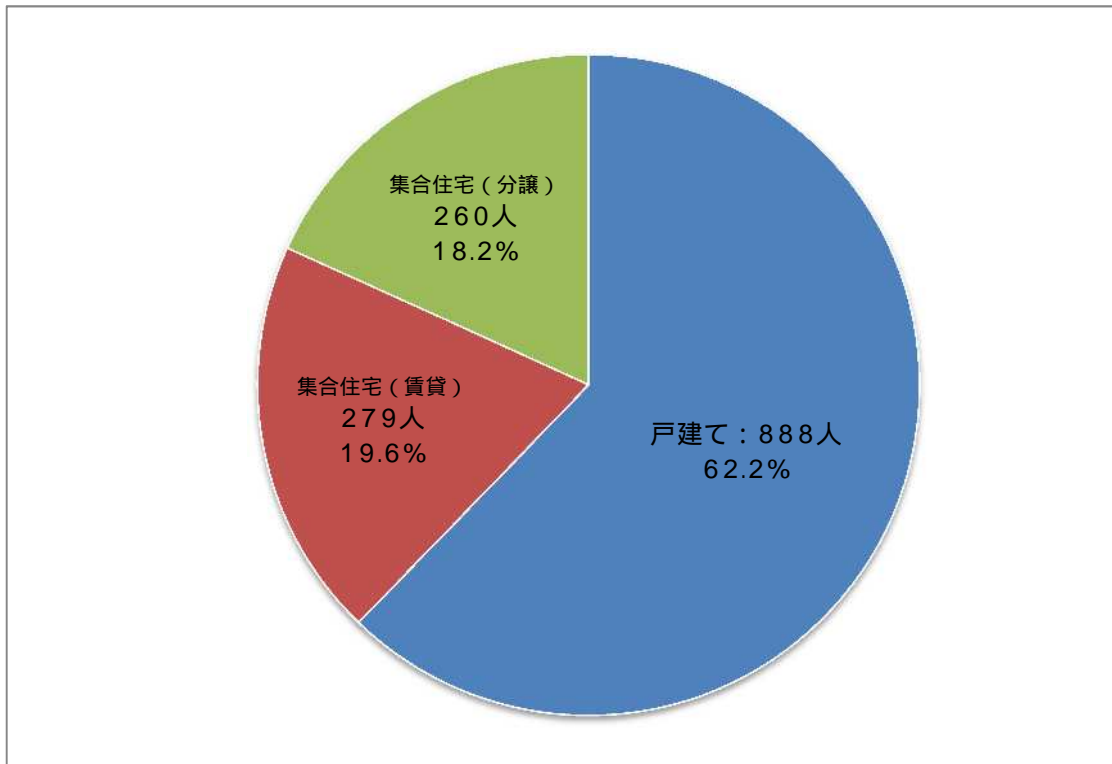
年代【n=1,434】



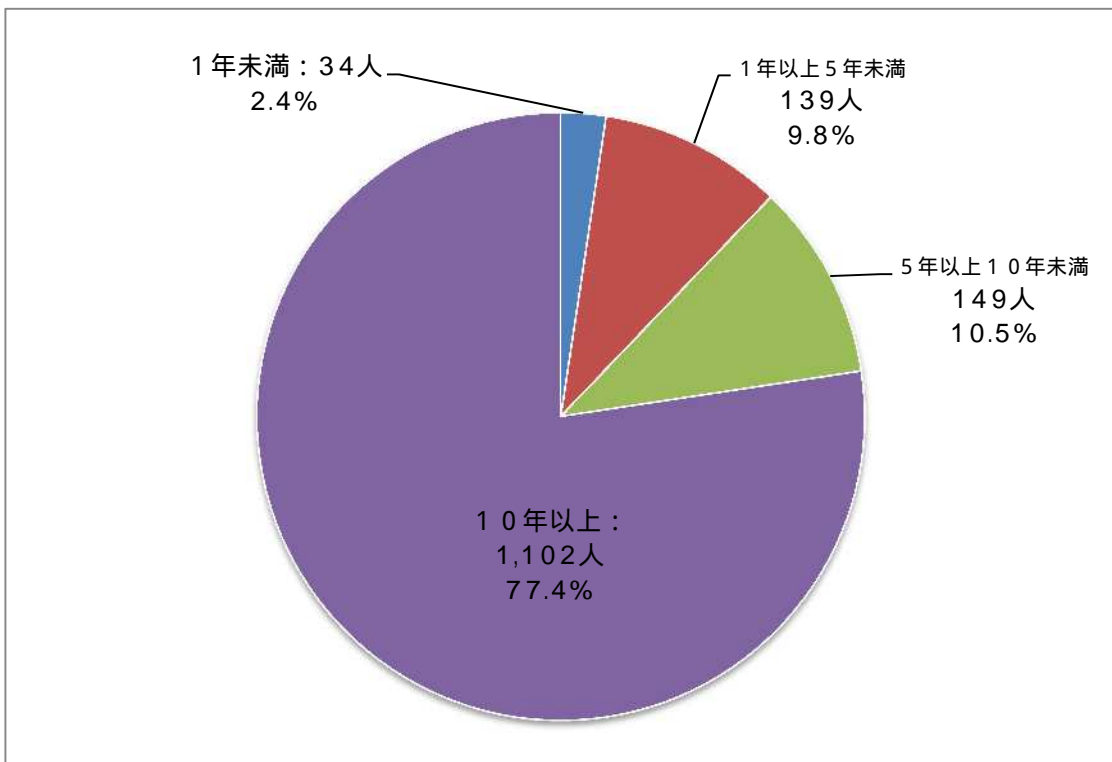
家族構成【n=1,429】



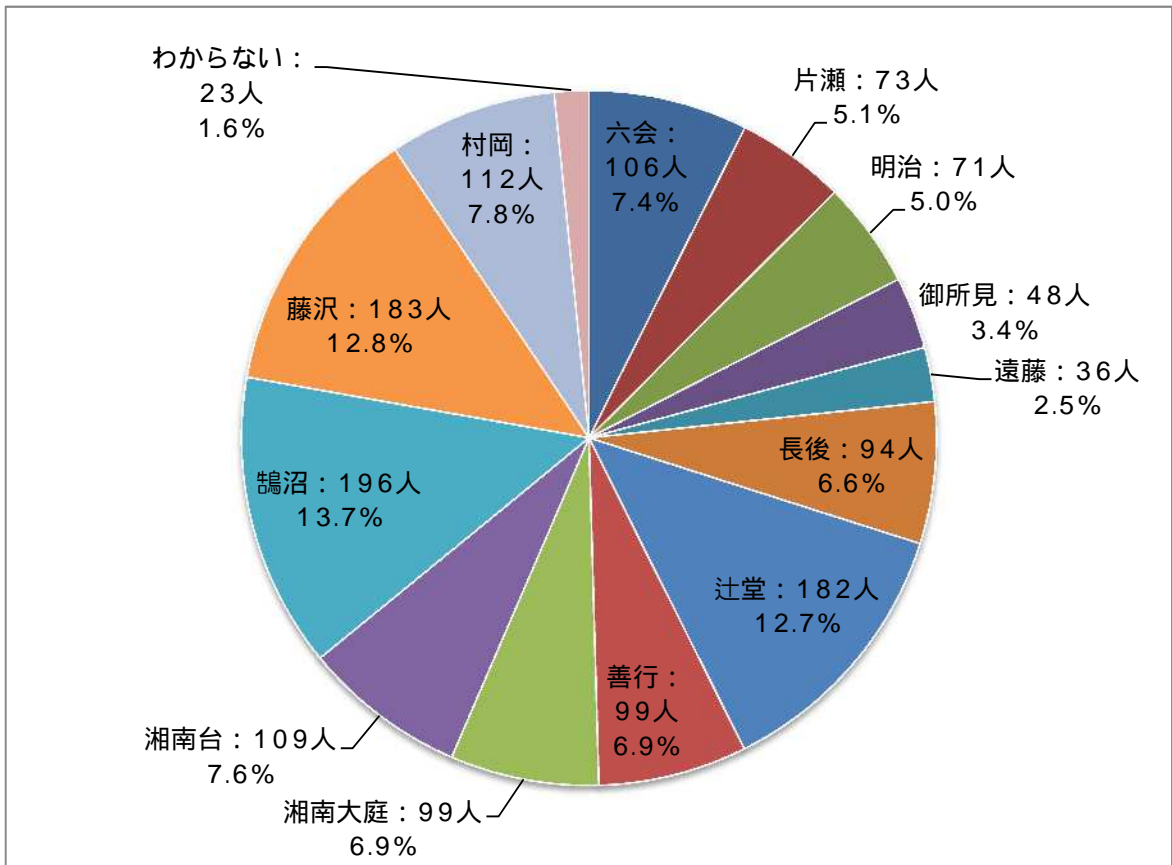
居住形態【n=1,427】



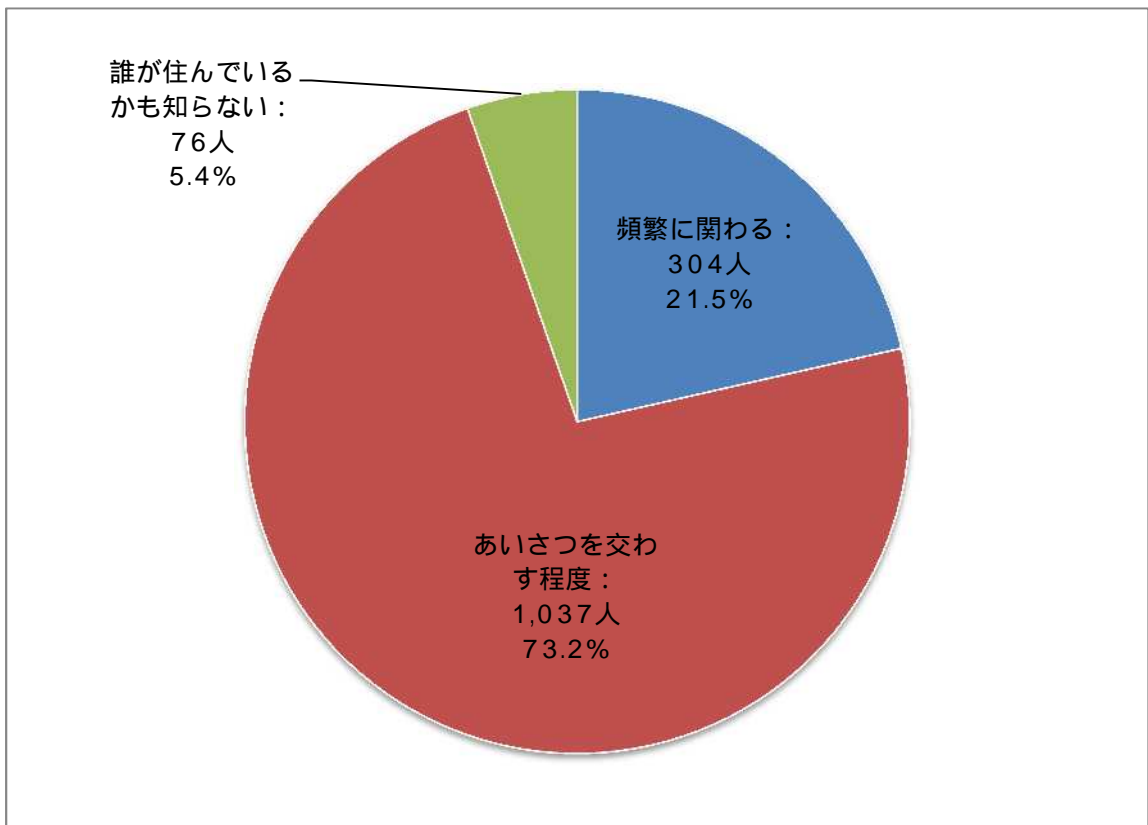
居住年数【n=1,424】



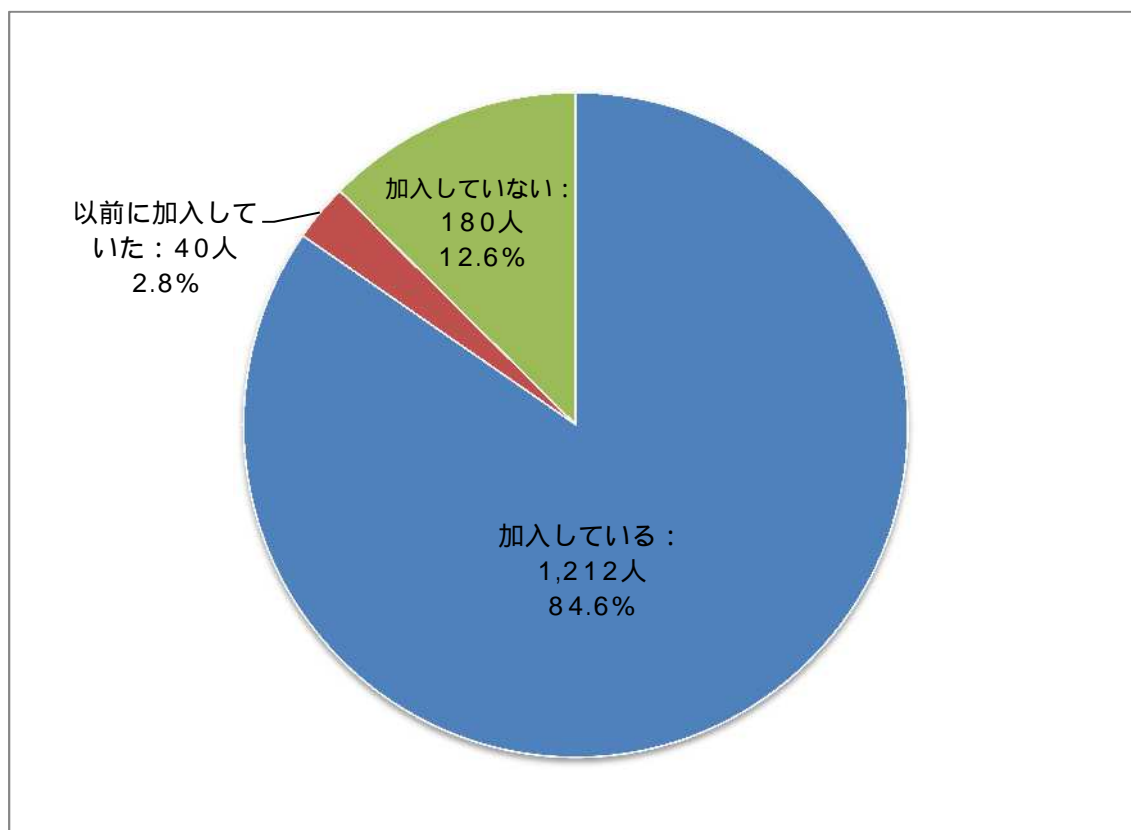
居住地区【n=1,431】



(2) 地域コミュニティに関すること
近所との関わり【n=1,417】

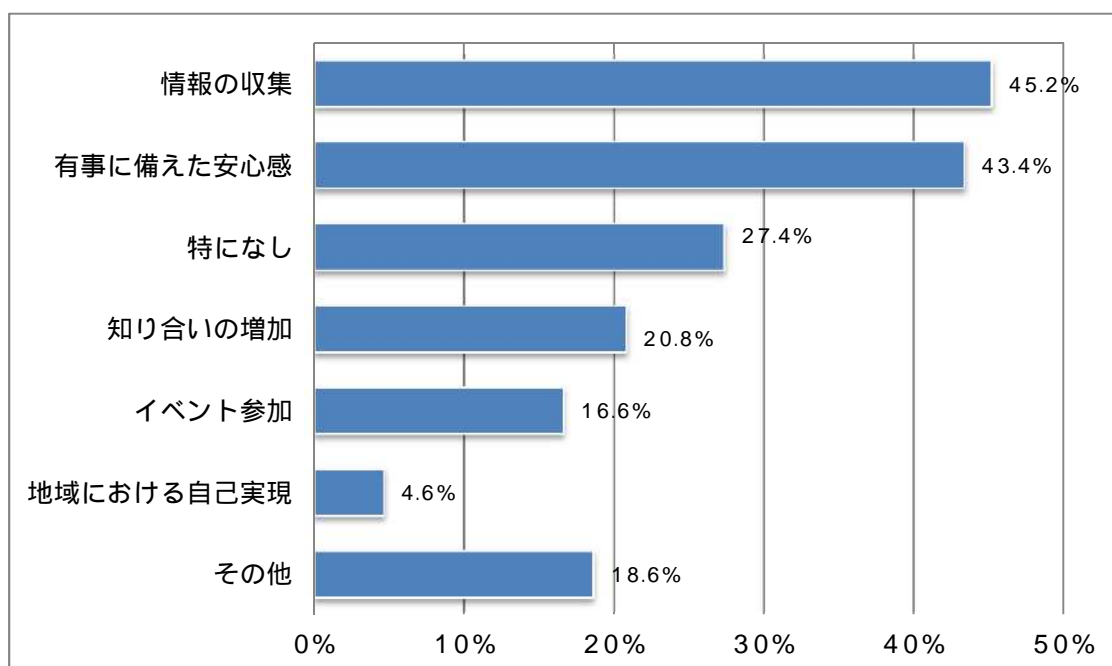


自治会・町内会加入状況【n=1,432】



自治会・町内会加入理由（複数回答可）【n=1,144】

自治会・町内会に加入していると答えた方のみ回答。

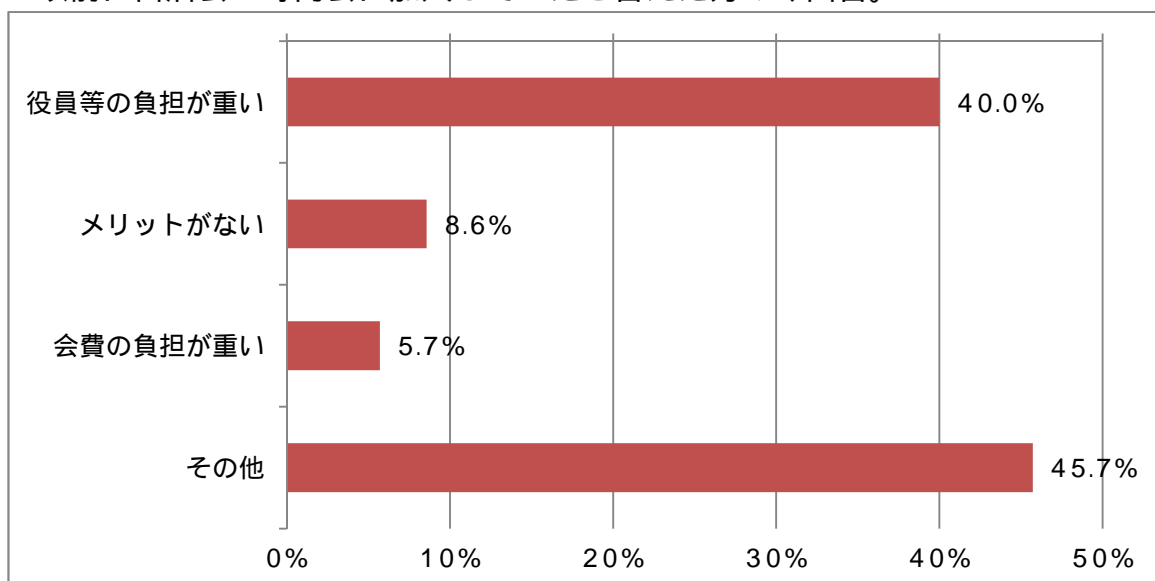


【その他】

- ・(マンション等で)強制加入だった。
- ・義務だと思って。
- ・親が入っていたため。

自治会・町内会退会理由【n=35】

以前に自治会・町内会に加入していたと答えた方のみ回答。

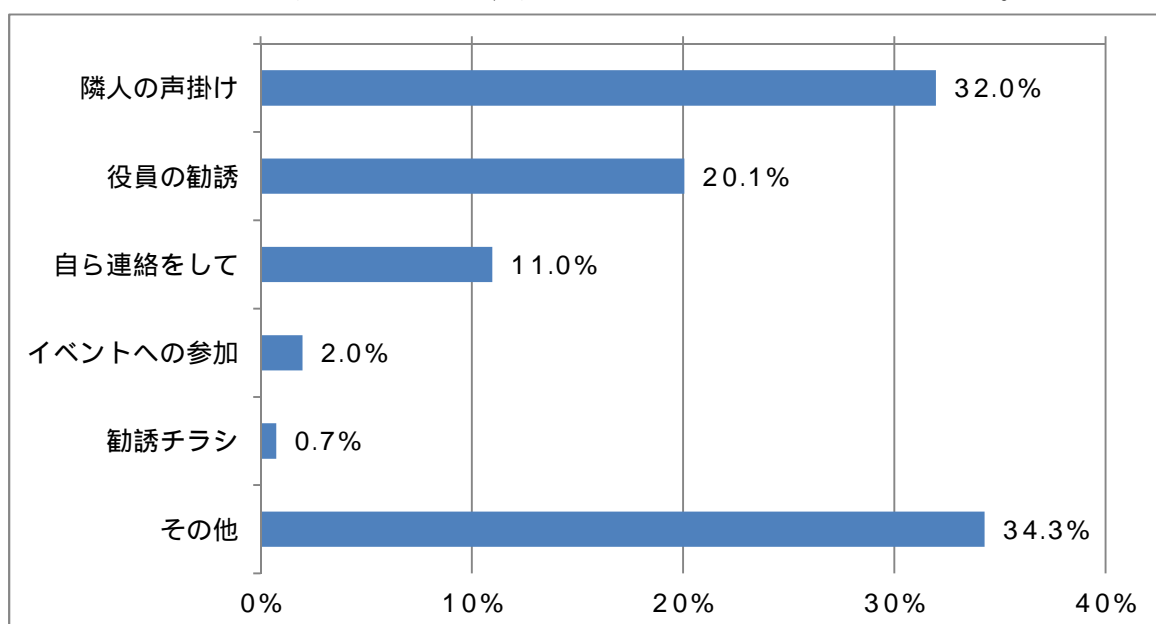


【その他】

- ・引っ越しのため。
- ・仕事上の都合で。

自治会・町内会加入きっかけ【n=957】

自治会・町内会に加入している、加入していたと答えた方のみ回答。

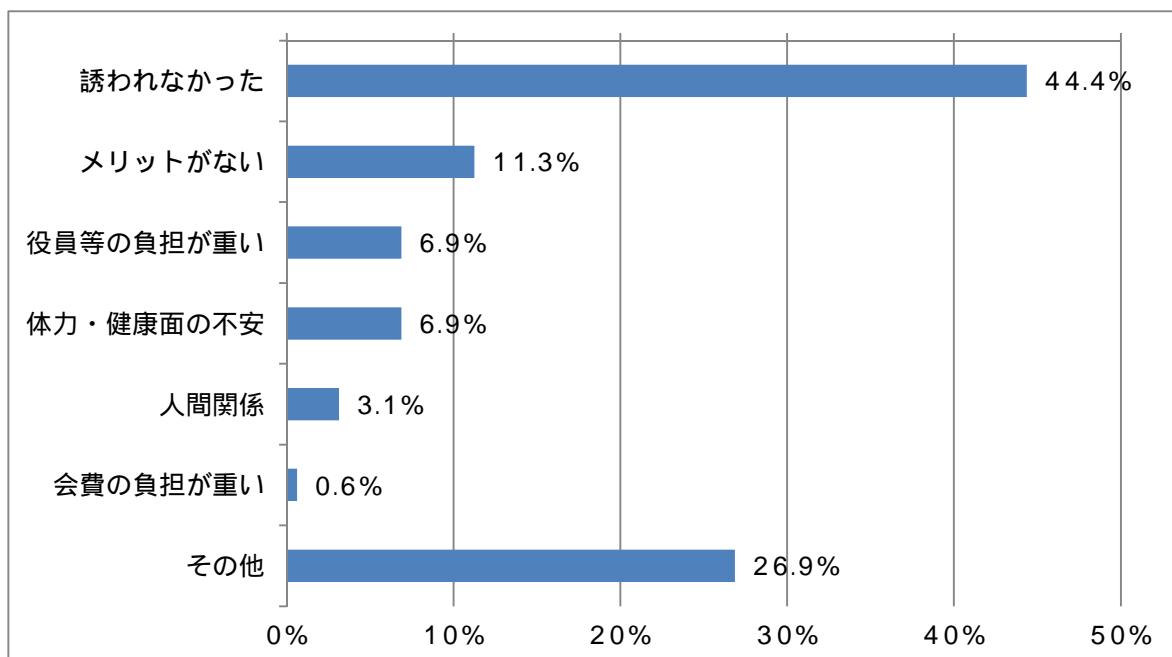


【その他】

- ・自動的に加入した。
- ・代々加入している。

自治会・町内会未加入理由【n=160】

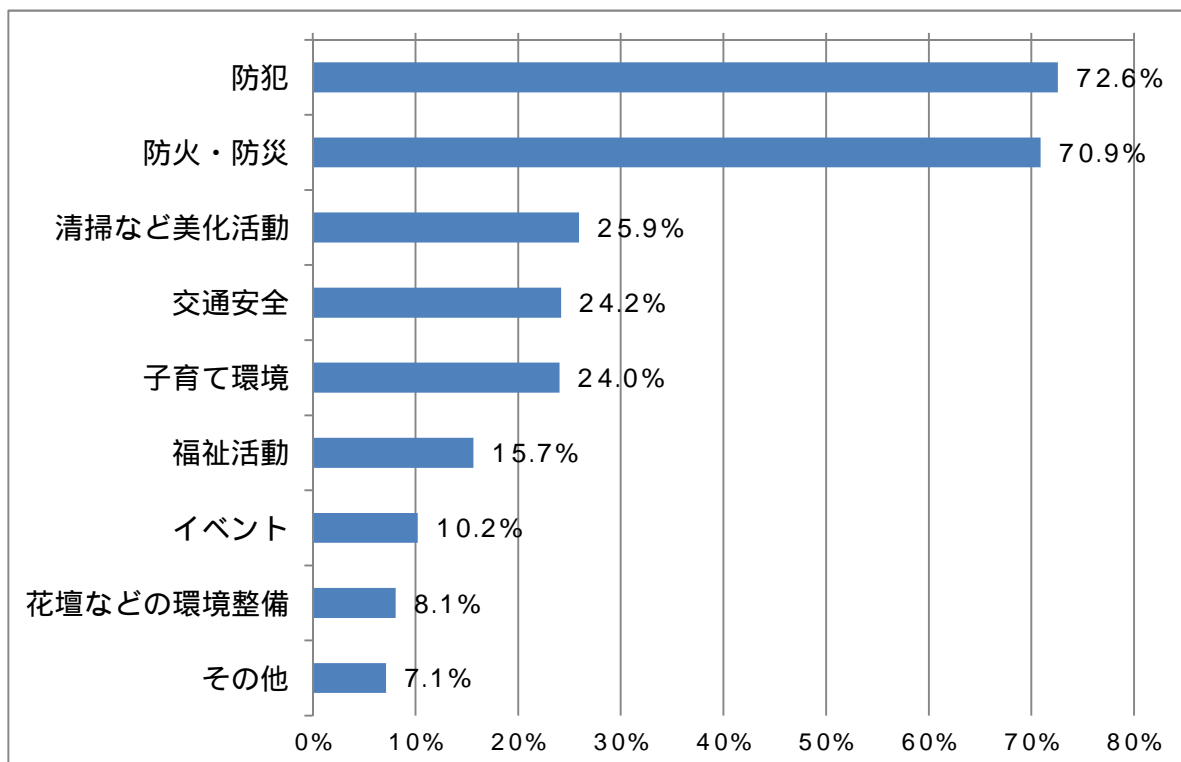
自治会・町内会に加入していないと答えた方のみ回答。



【その他】

- ・住んでいるマンション全体が加入していない。
- ・時間がない。

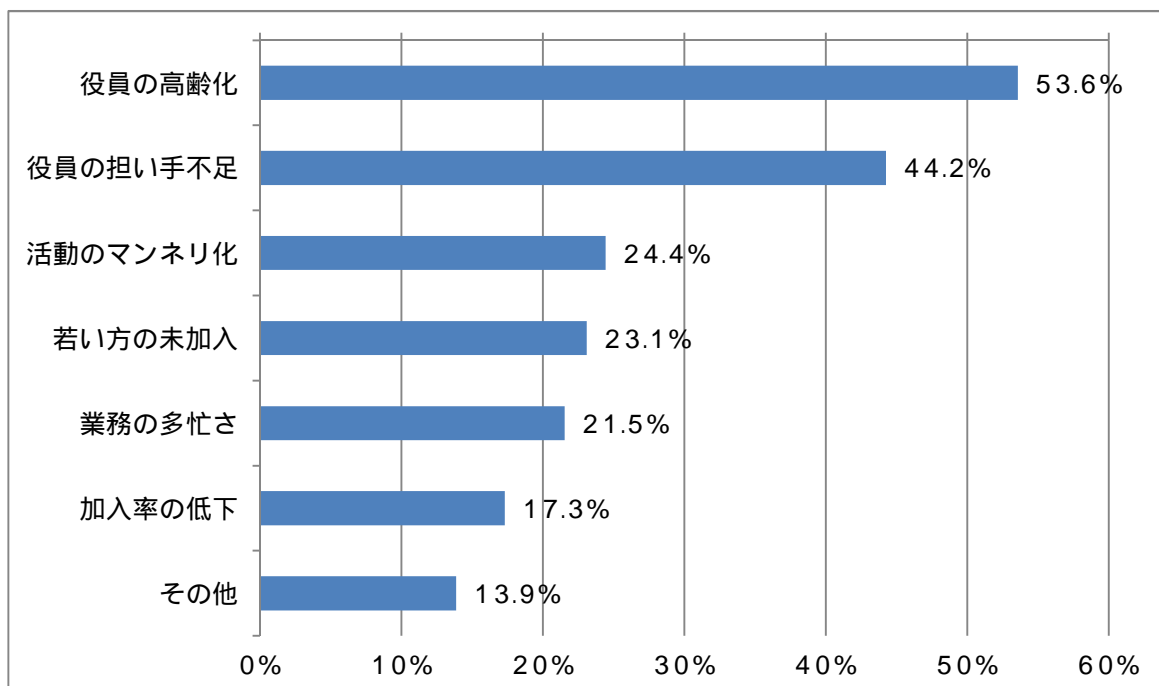
地域で気になること（複数回答 可）【n=1,361】



【その他】

- ・老人の高齢化、一人暮らし。
- ・特になし。

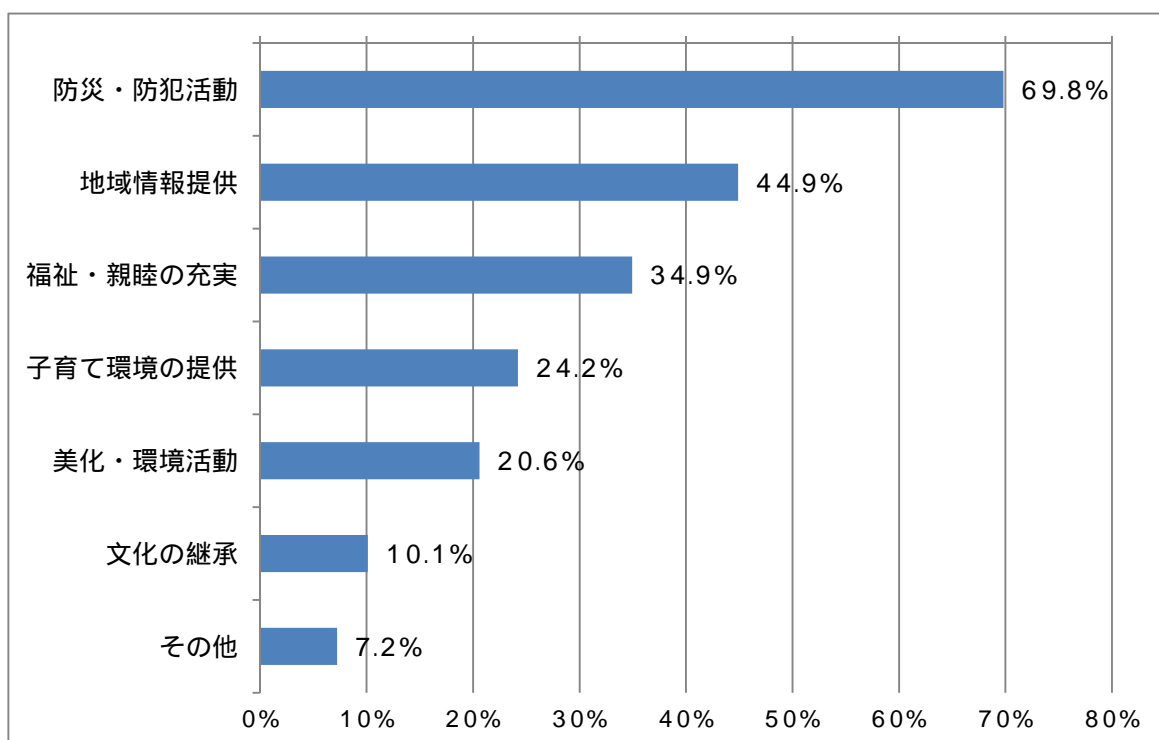
自治会・町内会の課題（複数回答 可）【n=1,277】



【その他】

- ・個人情報の問題。
- ・分からない。 / 特になし。

自治会・町内会に期待すること（複数回答 可）【n=1,325】

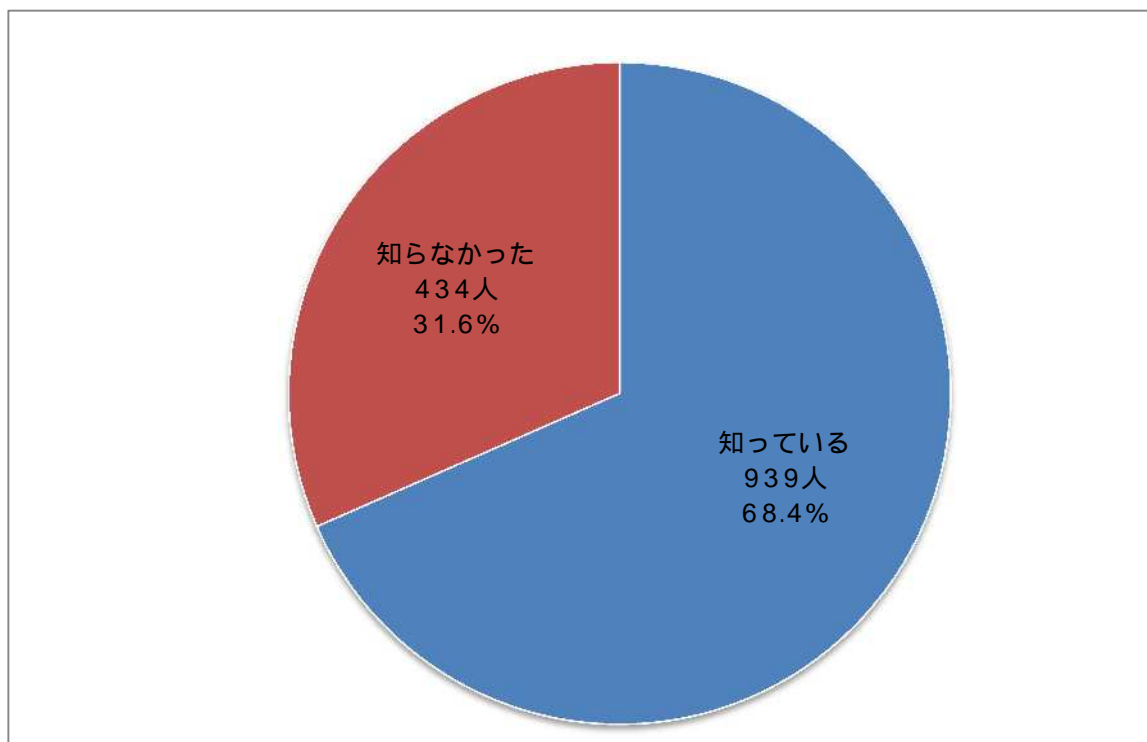


【その他】

- ・若い世代が参加できる自治会にしてほしい。
- ・このままで良い。 / 特になし。 / 分からない。 / 期待しない。

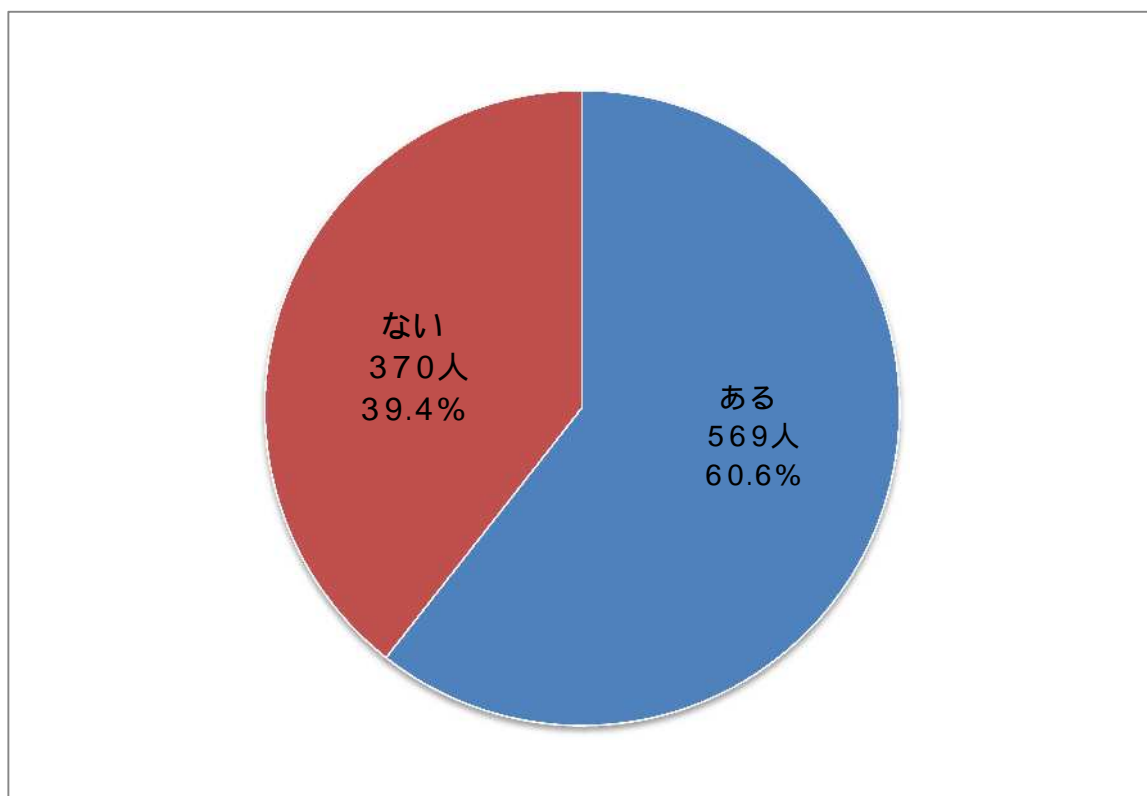
(3) 地域市民の家に関すること

地域市民の家を知っているか【n=1,373】

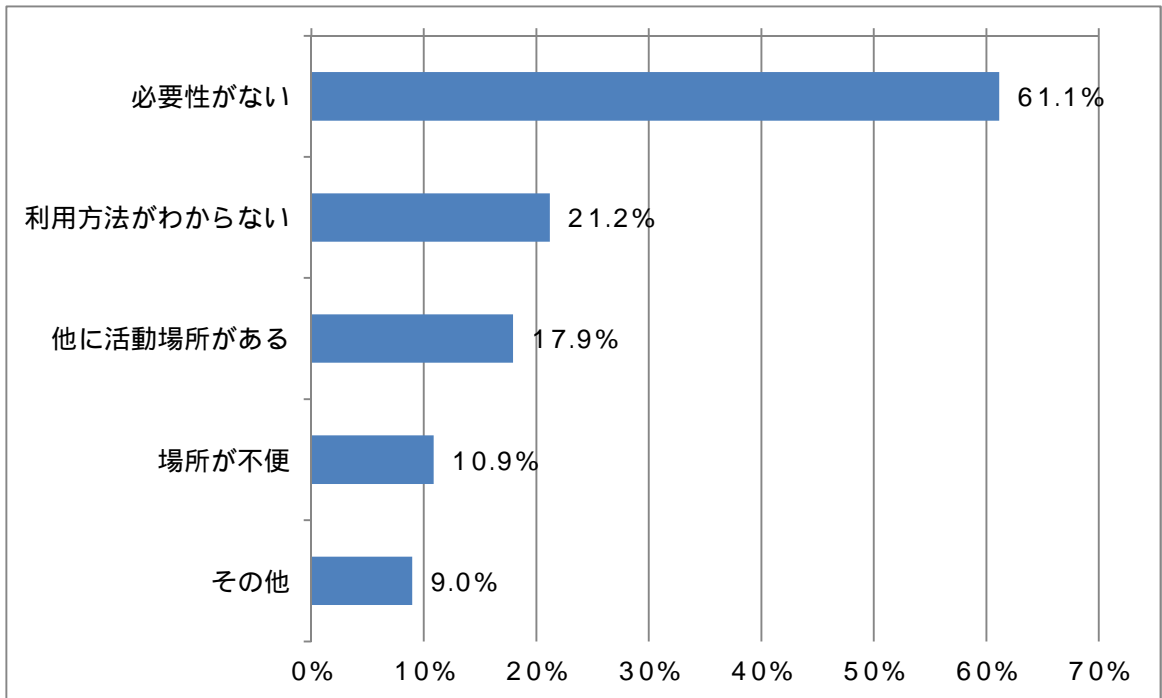


地域市民の家利用経験の有無【n=939】

市民の家を知っていると答えた方のみ回答。



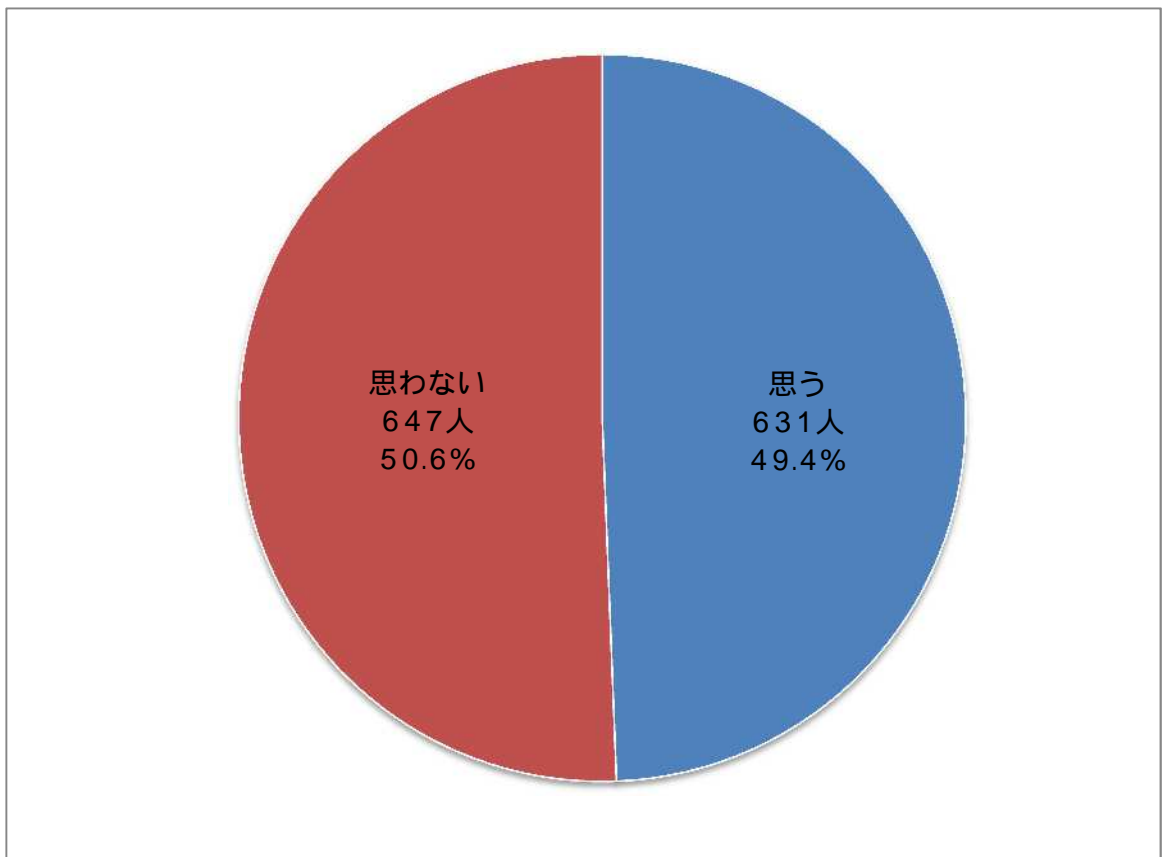
地域市民の家を利用しない理由（複数回答 可）【n=368】
 市民の家を知っており、利用したことがないと答えた方のみ回答。



【その他】

- ・時間、機会がなかった。
- ・使い勝手が悪い。

今後、地域市民の家を利用したいか【n=1,278】



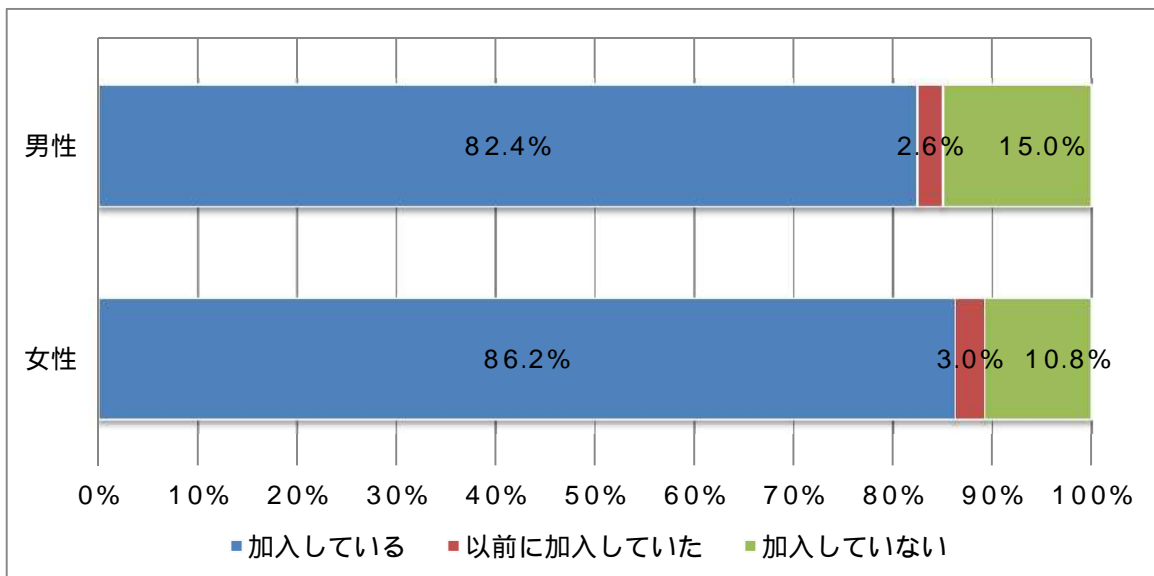
4. クロス集計結果

(1) 自治会・町内会加入関係の集計

以前加入していた人については、回答者数が50人未満であるため、それを念頭にデータを見る必要があります。

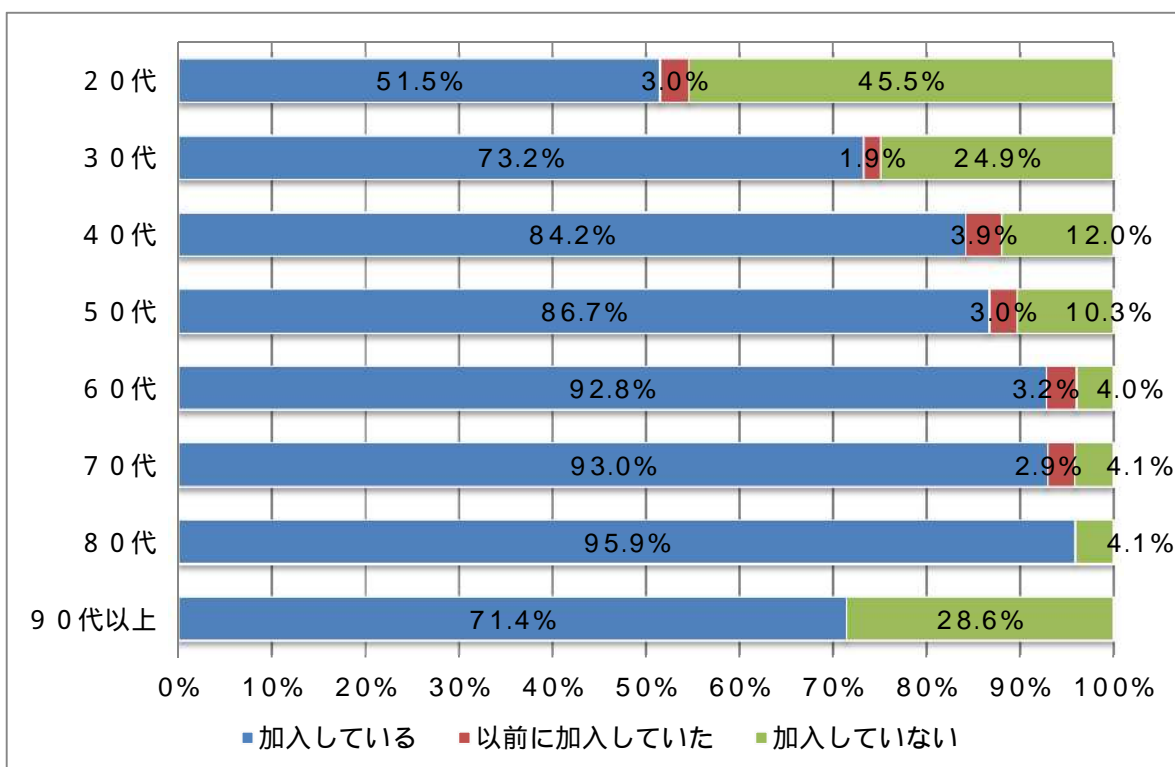
男女別自治会・町内会加入状況【n=1,422】

男性の加入率と女性の加入率を比較したときに、女性の加入率のほうが高くなっています。



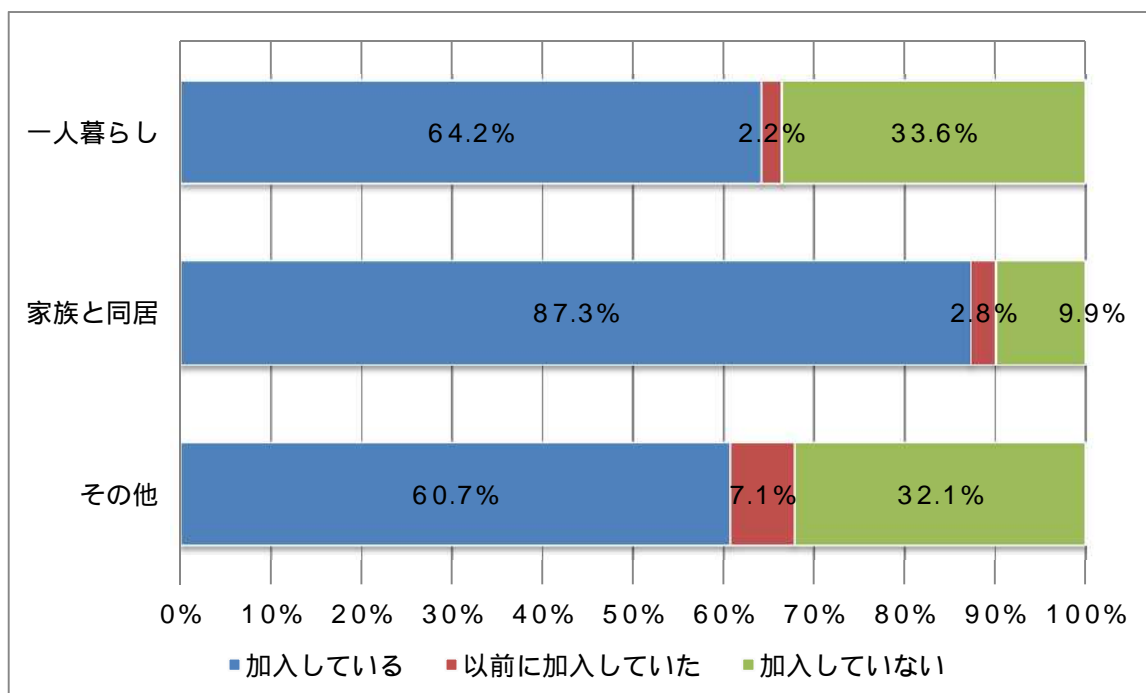
年齢別自治会・町内会加入状況【n=1,429】

回答者全体で見た自治会加入率は84.6%でしたが、80代は95.9%、20代は51.5%となっており、基本的には年齢が上がるにつれ自治会加入率は増し、90代以上の高齢になると減少することが分かります。



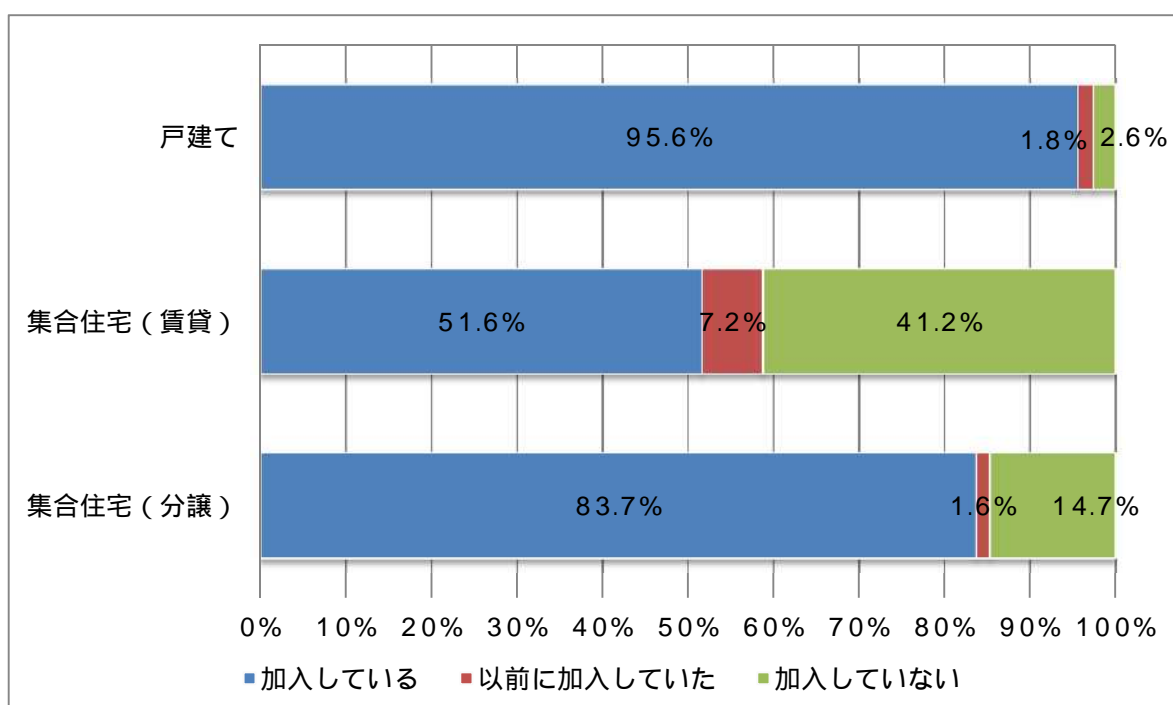
家族構成別自治会・町内会加入状況【n=1,424】

家族構成別で見ると、家族で住んでいる世帯は87.3%と加入率が高く、一人暮らしやその他の世帯は約6割程度と加入率が低くなっています。



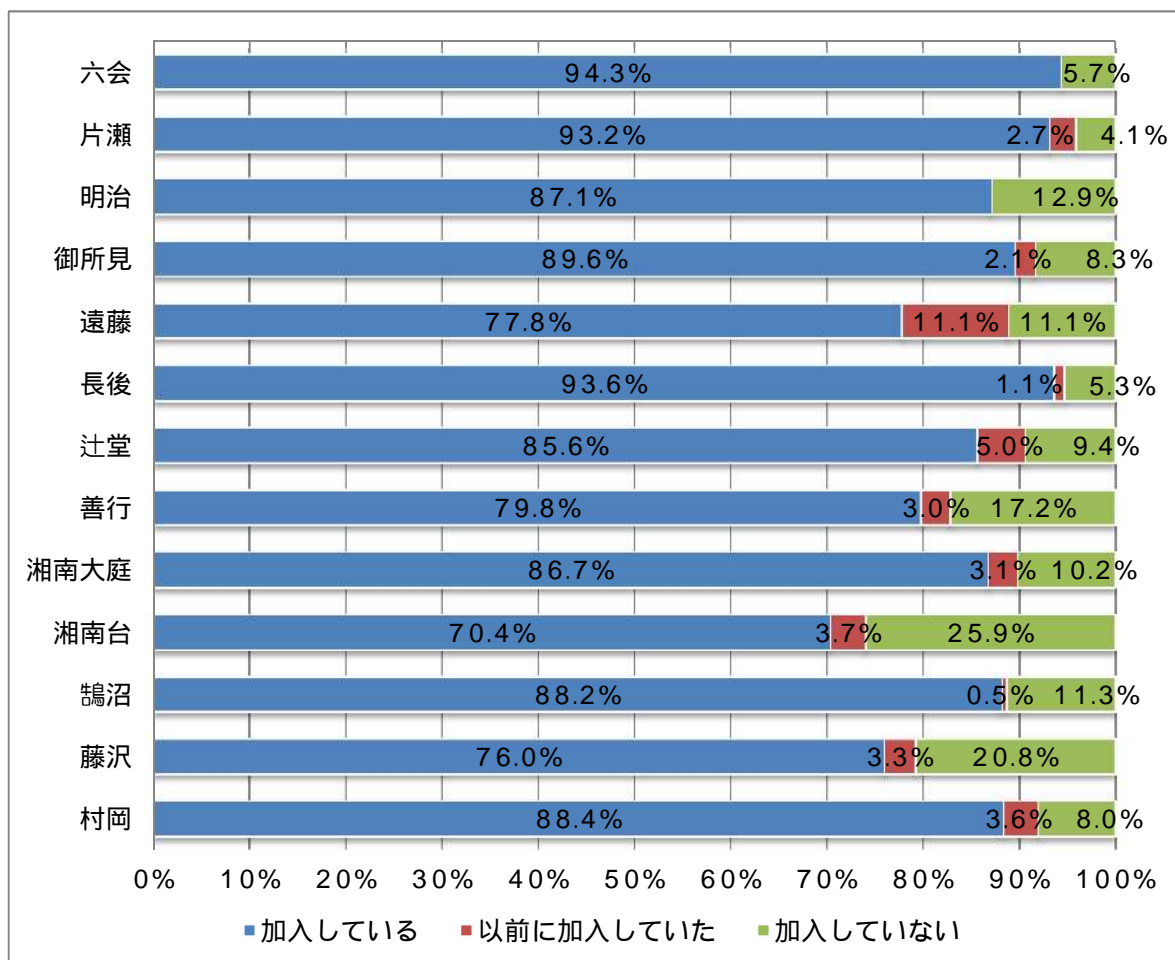
住居形態別自治会・町内会加入状況【n=1,422】

住居形態別では、戸建ての加入者は95.6%と、ほとんどの世帯が加入している一方で、賃貸の集合住宅は51.6%であり、住居形態によって大きな加入率の差が発生しています。



地区別自治会・町内会加入状況【n=1,403】

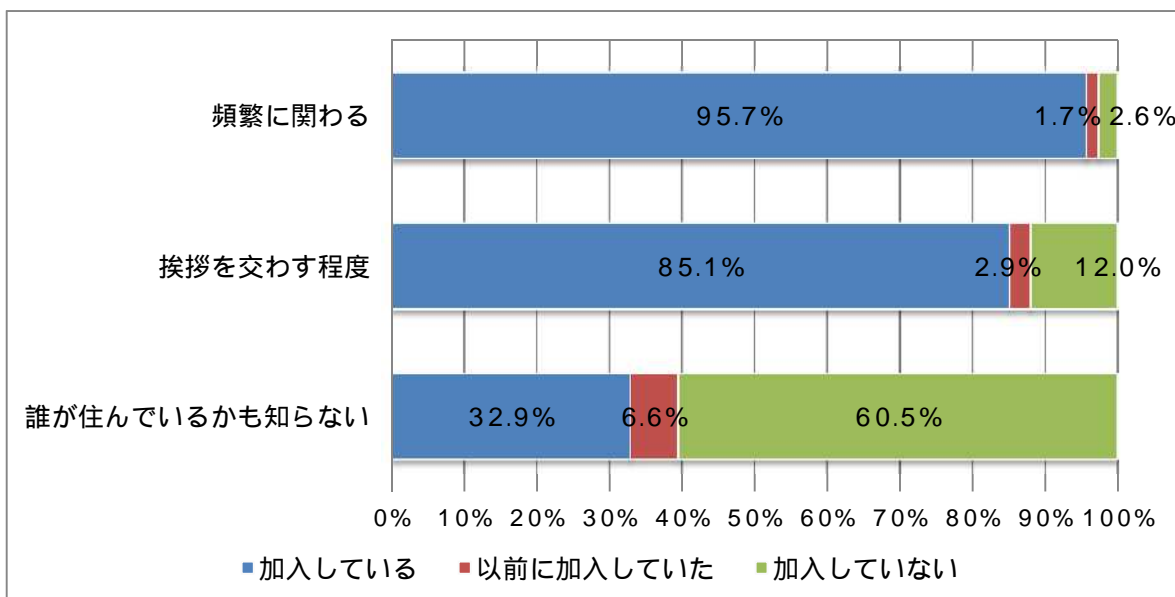
地区ごとの加入状況については、六会・片瀬・長後地区は 90%を越える加入率となっていますが、遠藤・善行・湘南台・藤沢地区は 80%を下回っており、中でも湘南台地区は 70.4%と、一番低い加入状況となっています。



地区名	加入	以前加入	未加入	合計
六会	100	0	6	106
片瀬	68	2	3	73
明治	61	0	9	70
御所見	43	1	4	48
遠藤	28	4	4	36
長後	88	1	5	94
辻堂	155	9	17	181
善行	79	3	17	99
湘南大庭	85	3	10	98
湘南台	76	4	28	108
鵜沼	172	1	22	195
藤沢	139	6	38	183
村岡	99	4	9	112

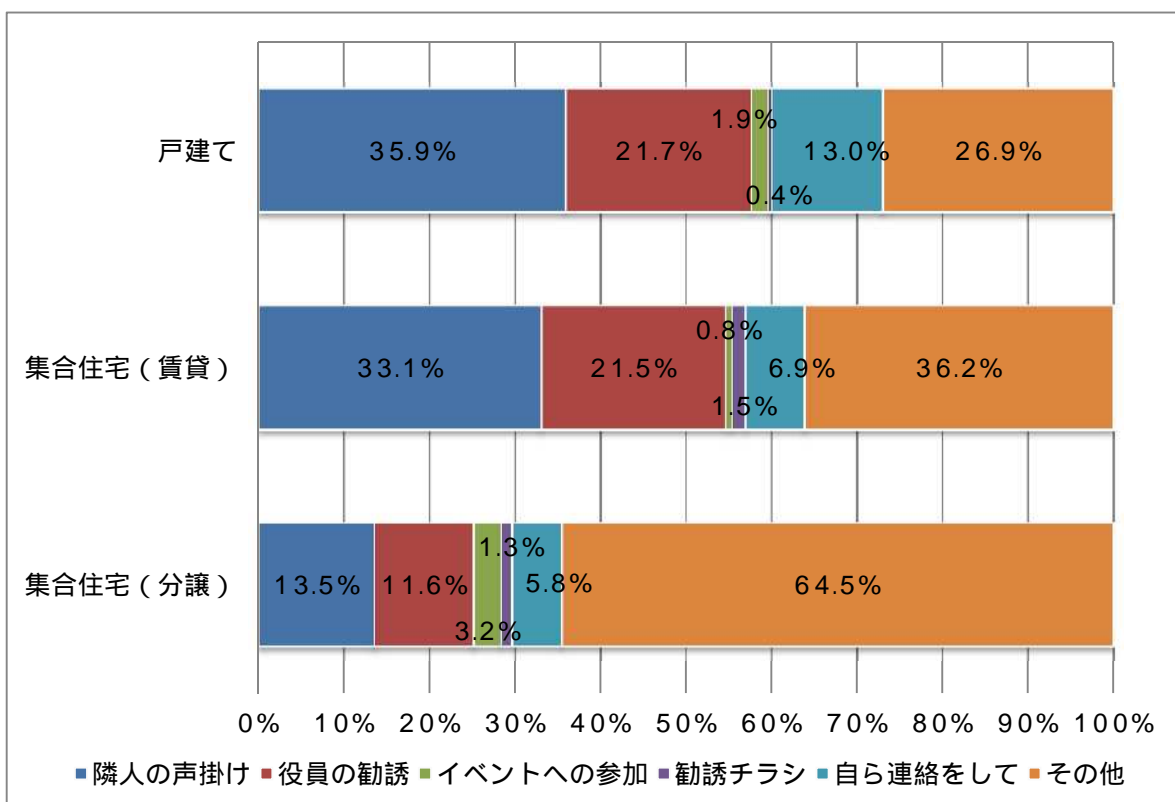
近所との関わり方別自治会・町内会加入状況【n=1,413】

近所との関わり方別の加入率を見ると、近所との関わりが多いほど加入率が高くなる傾向にあることが分かります。しかし、近所に誰が住んでいるかも知らない人の中でも、およそ3割が自治会に加入しています。



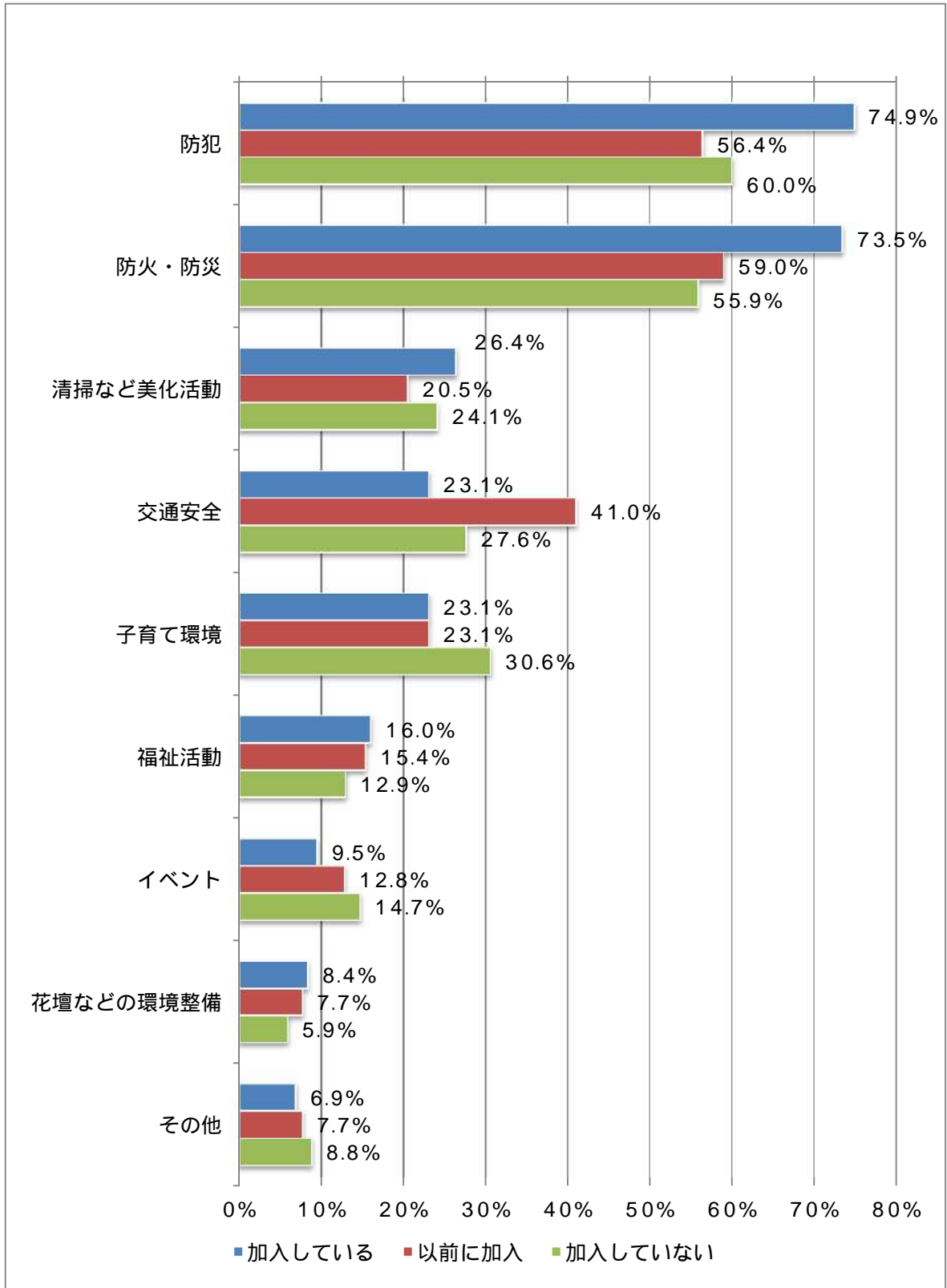
住居形態別自治会・町内会加入のきっかけ【n=953】

自治会加入のきっかけについては、隣人の声掛け及び役員の勧誘が多いことが分かります。しかし、分譲の集合住宅についてはその他が6割を超えており、自治会加入が入居条件となっている場合や、自治会がマンション理事会と兼ねている場合等が理由として考えられます。



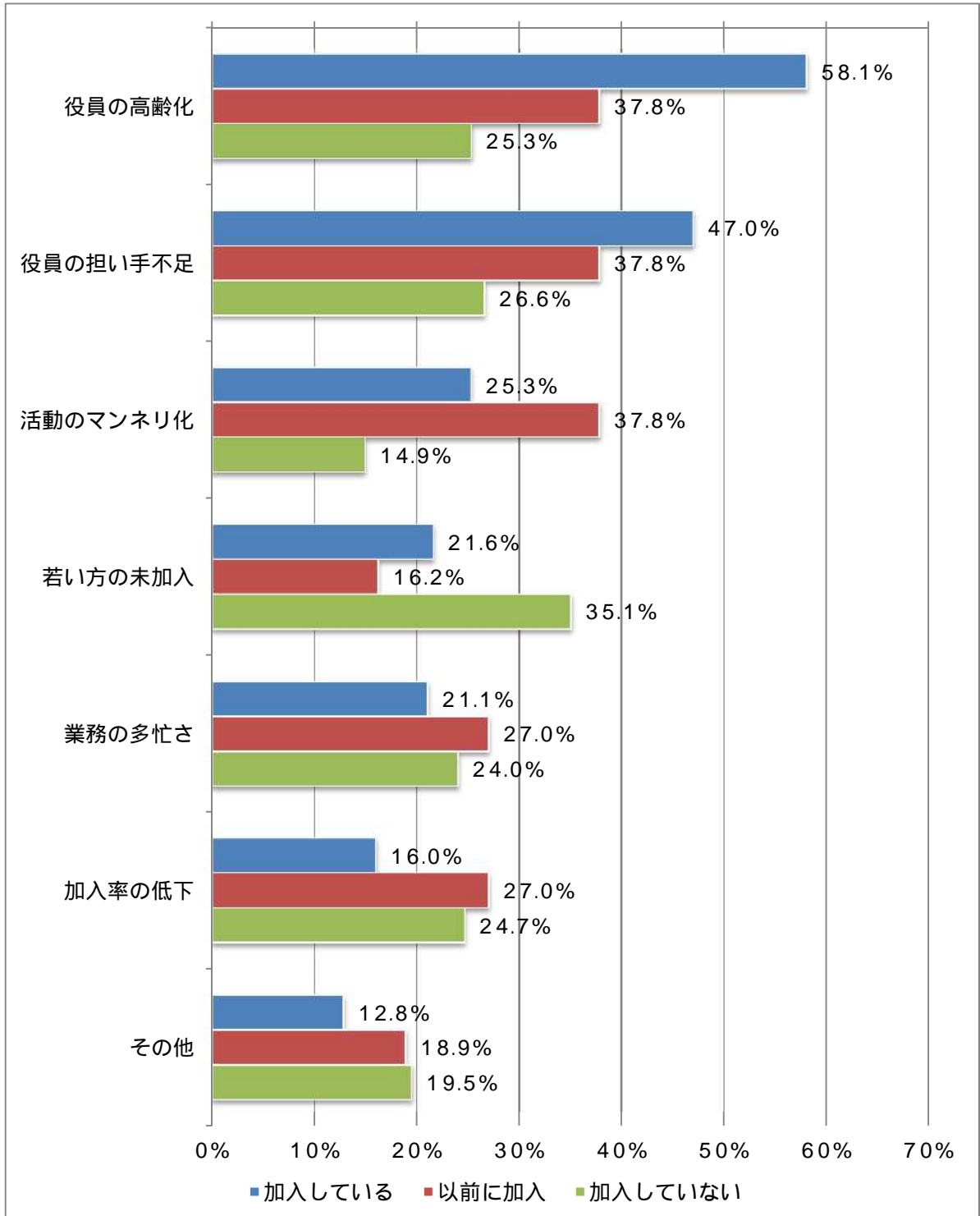
自治会・町内会加入別地域で気になること【n=1,358】

地域で気になることについては、全体として防火・防災及び防犯がかなりの割合となっており、地域住民の防火・防災・防犯に対する関心の高さが伺えます。



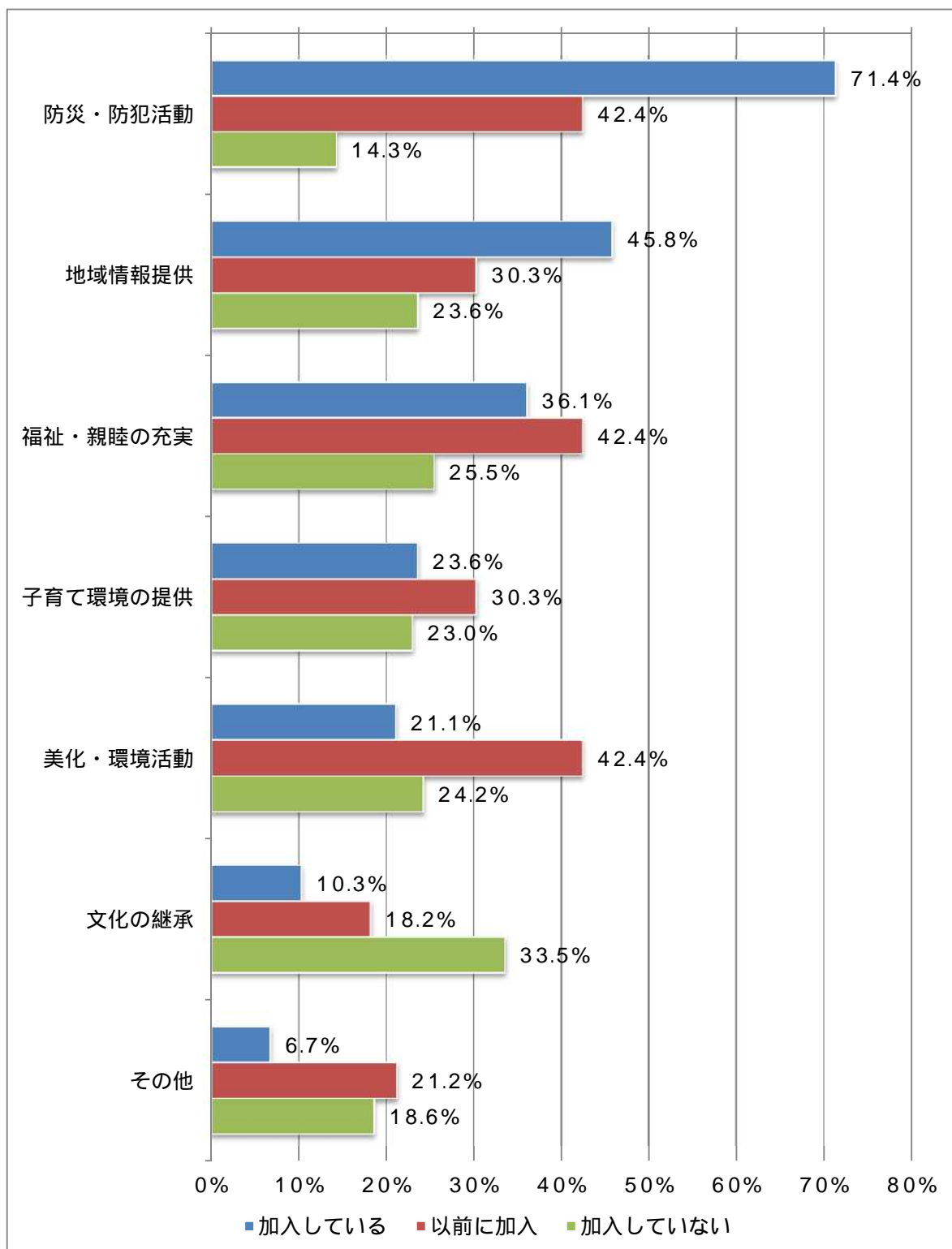
自治会・町内会加入別自治会・町内会に対する課題の認識【n=1,274】

加入者、すなわち自治会の中から見ただけの自治会の課題認識は、役員の高齢化及び役員の担い手不足が高い割合となっています。以前加入していた方については役員の高齢化・担い手不足、活動のマンネリ化、非加入者については、若い方の未加入が比較的多くなっています。



自治会・町内会加入別自治会・町内会に期待すること【n=1,322】

加入者・非加入者ごとの自治会に期待することを見ると、加入者は防災・防犯活動に期待する人が大多数であるのに対し、以前加入していた方及び非加入者は、加入者と比較すると満遍なく自治会に対し期待をしていることが分かります。

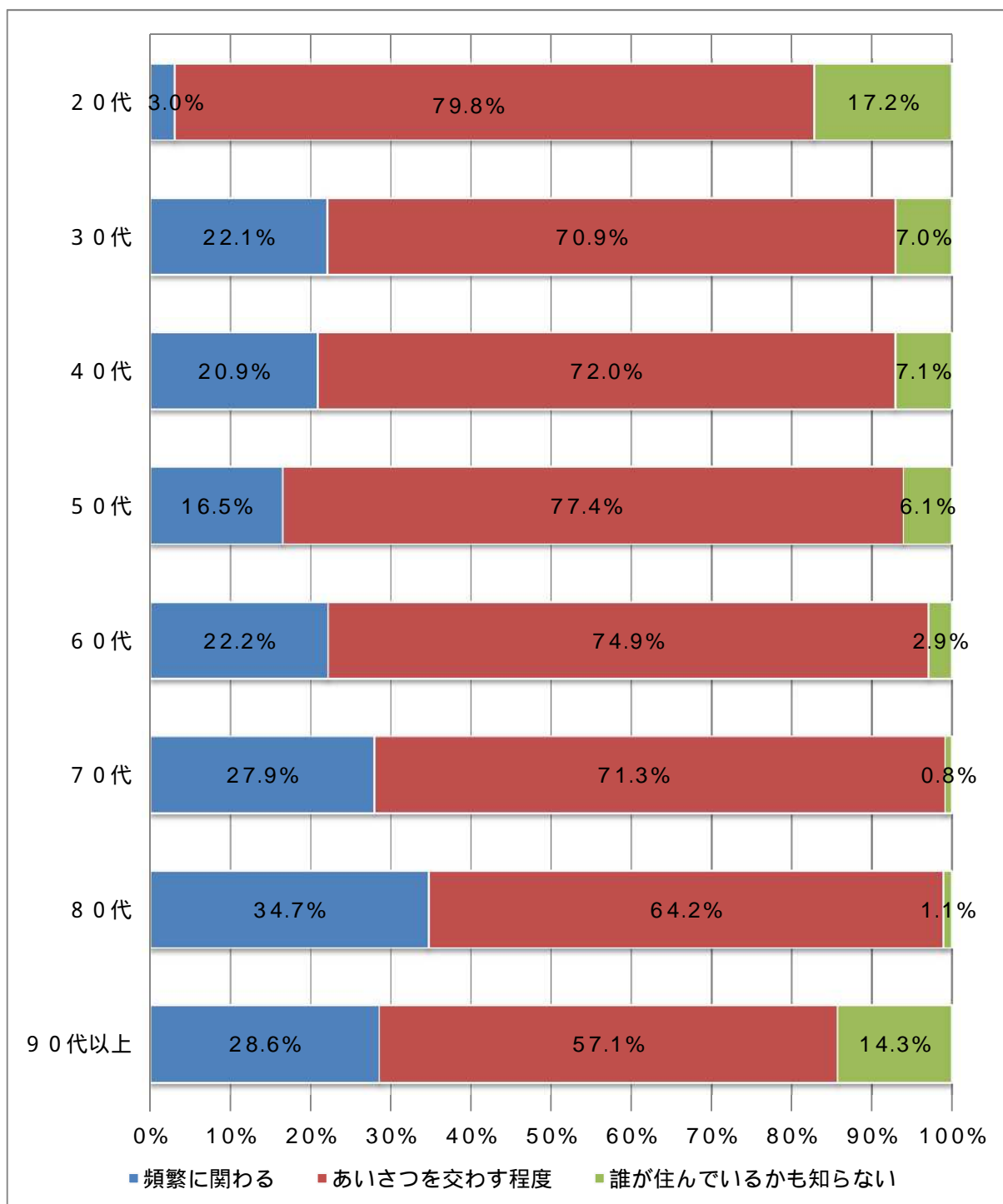


(2) 年齢別集計

90代については、回答者数が10人以下であるため、それを念頭にデータを見る必要があります。

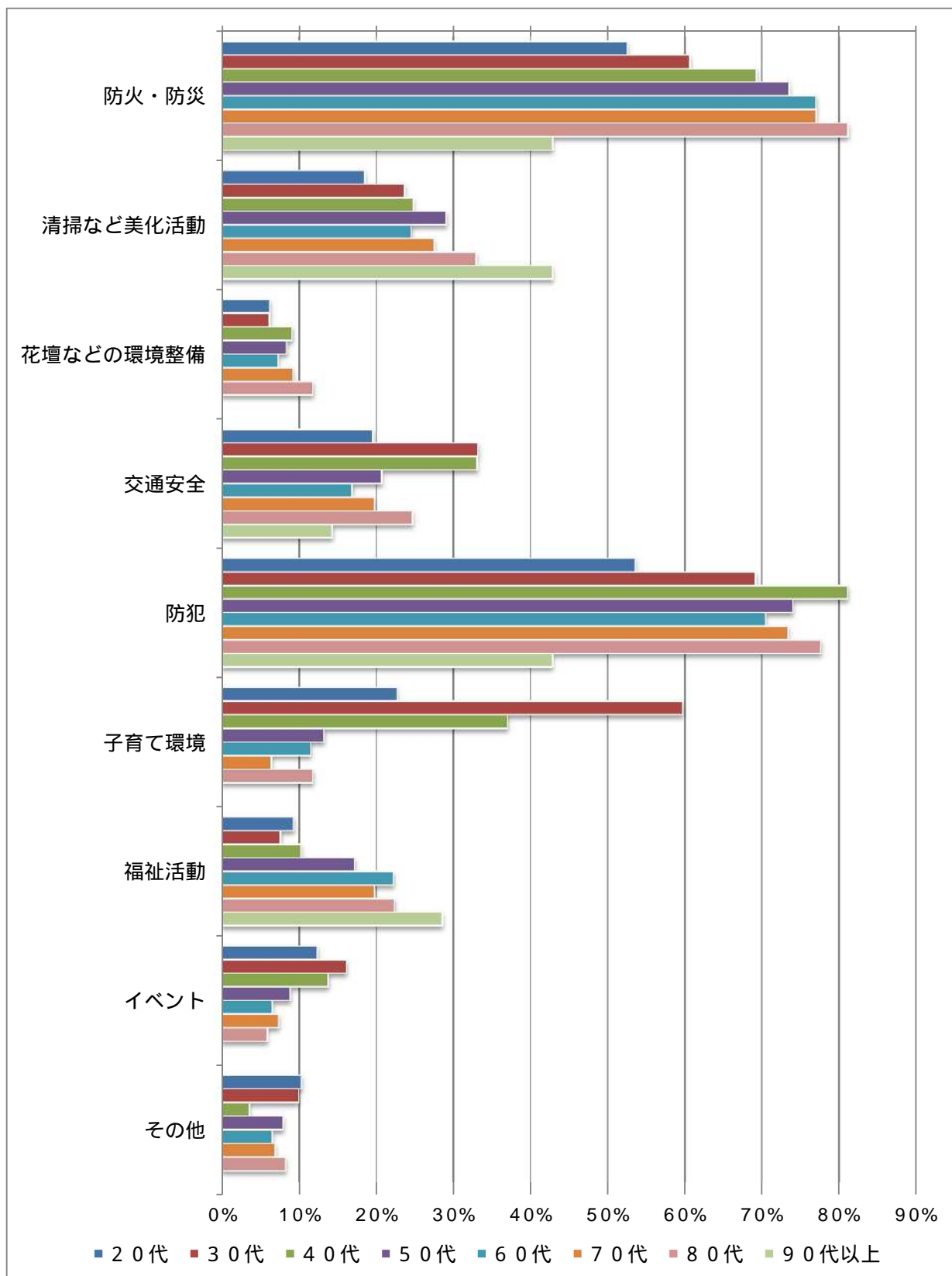
年齢別近所との関係【n=1,413】

近所との関係を年齢層ごとに見ると、20代の近所づきあいへの意識の低さが目立ちます。90代以上を除き、基本的には、年齢を重ねるごとに、「誰が住んでいるかも知らない」という割合は減少する傾向にあると言えます。



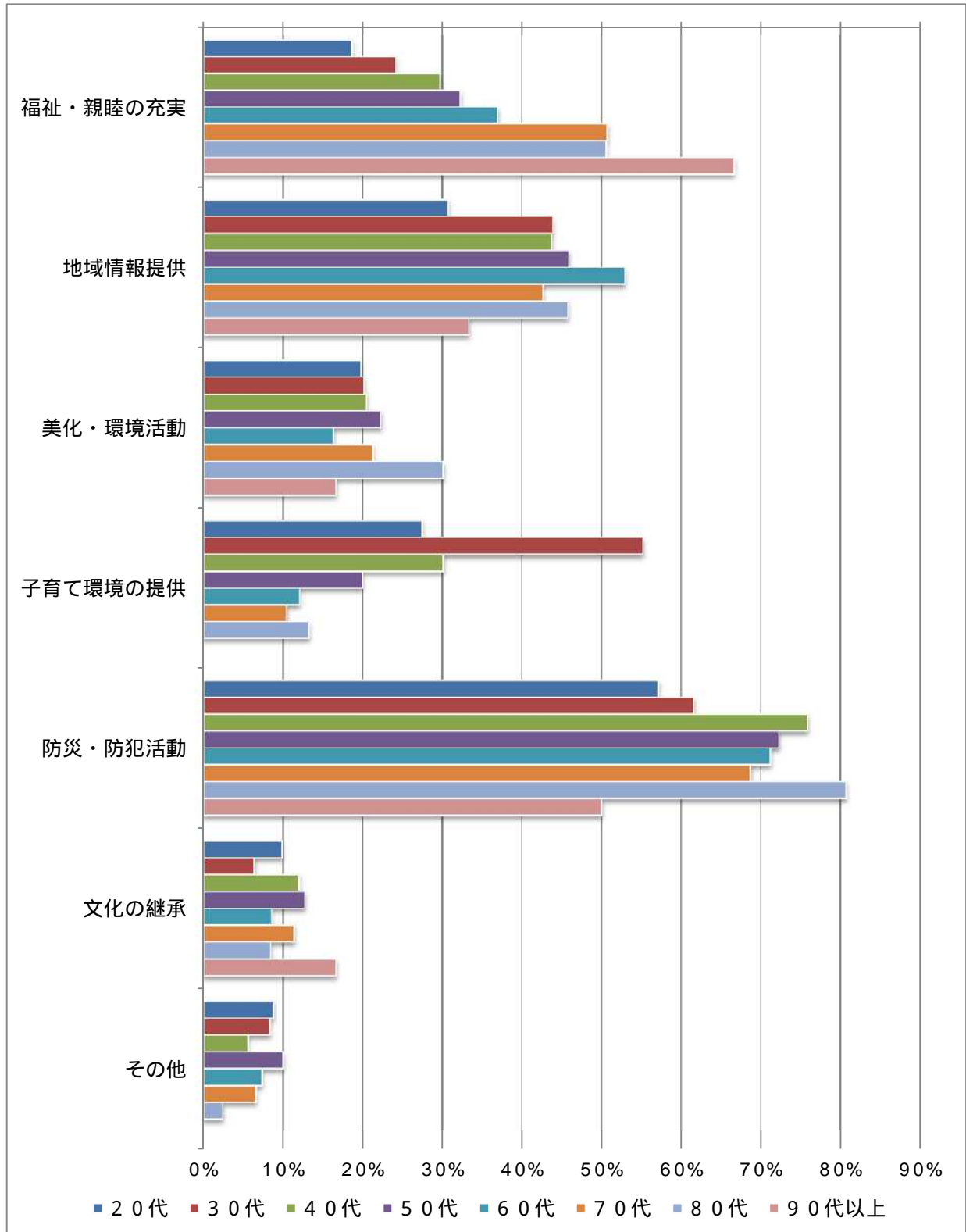
年齢別地域で気になること【n=1,360】

各年齢の地域で気になることについては、子育て世代である30～40代、特に30代の子育て環境への意識の高さが見てとれます。また、20代については、どの項目も他の年齢と比較して割合が高くなく、地域に対して積極的に関心を持っていないことが予想されます。



年齢別自治会・町内会に期待すること【n=1,320】

自治会に期待することについて、年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれ、福祉・親睦の充実を期待する人が増えています。また、30代については、50%を超える人が、自治会に対し子育て環境の提供を期待していることが分かります。

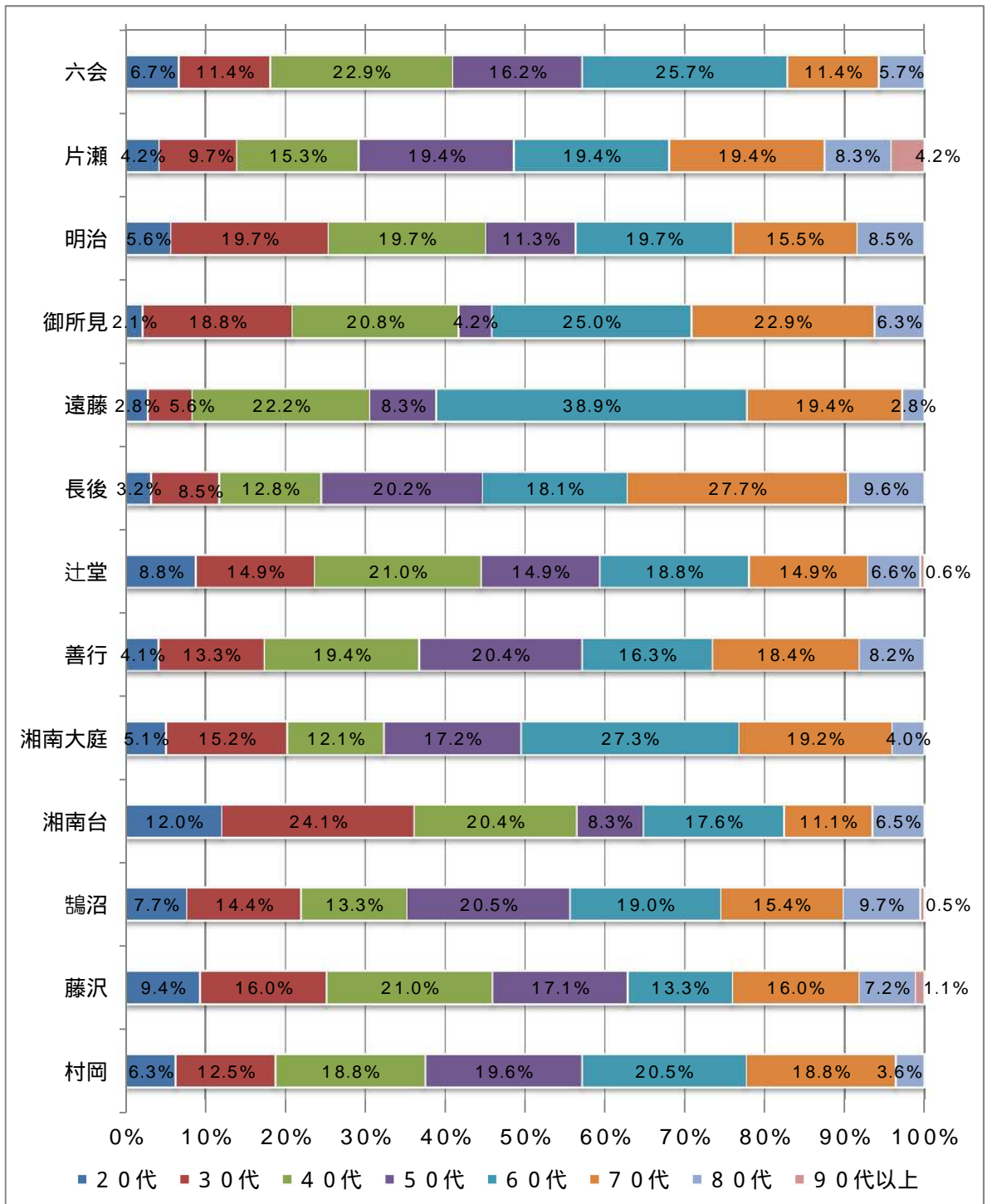


(3) 地区別集計

御所見・遠藤地区については、回答者数が50人未満であるため、それを念頭にデータを見る必要があります。

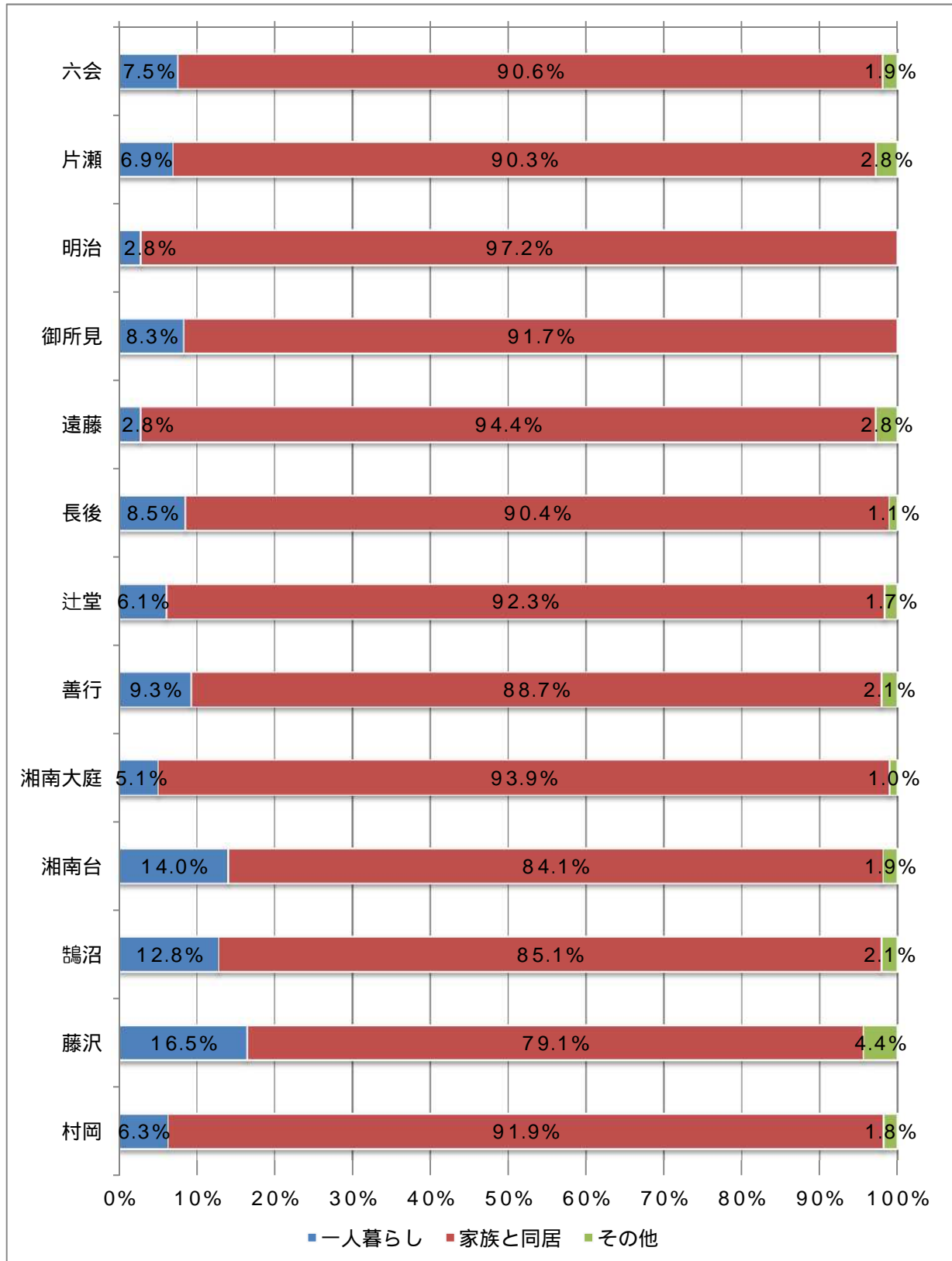
地区別年齢層【n=1,400】

地区別の年齢層について、20・30代の若年層が一番多いのは湘南台地区で、合計で約36%となっており、藤沢・明治地区もそれぞれ合計で25%を超えています。70～90代以上の高齢者層が一番多いのは長後地区で、次いで片瀬、御所見地区となっています。



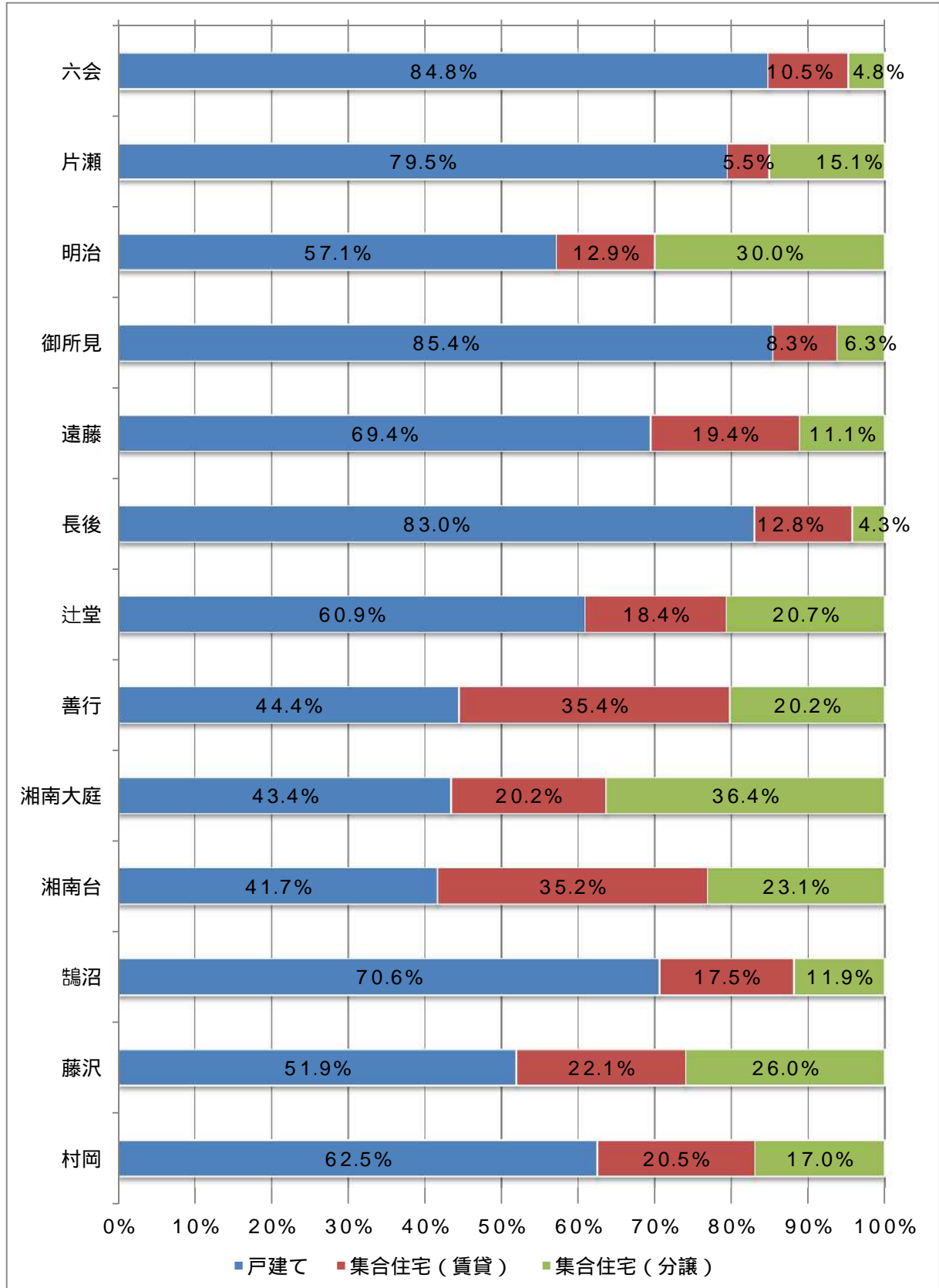
地区別家族構成【n=1,399】

家族構成を地区別で見ると、藤沢・湘南台・鵜沼の3地区で一人暮らしの割合が10%を超えています。また、明治地区については、家族と同居していると回答した人が97.2%と、非常に高い割合になっています。



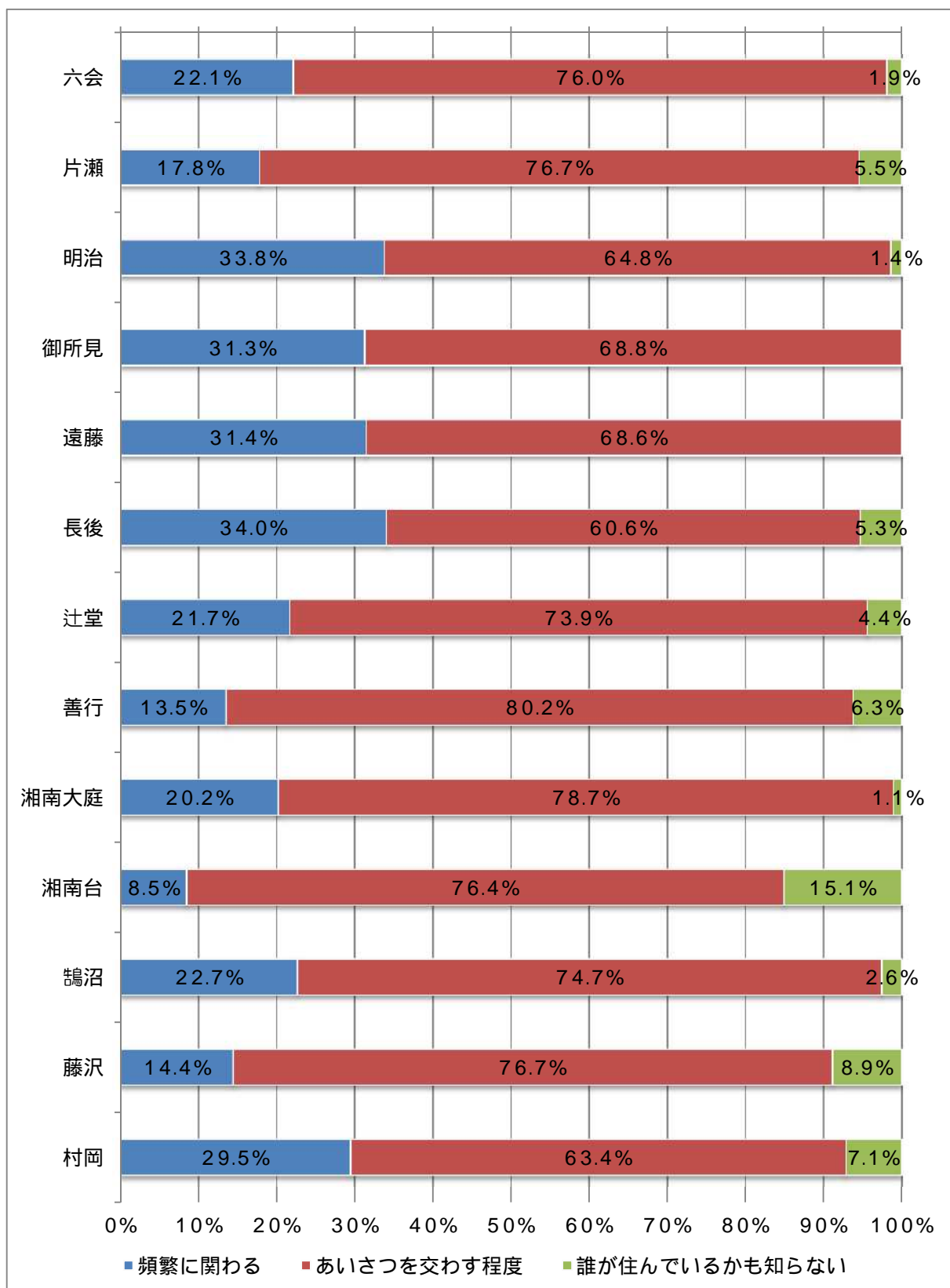
地区別住居形態【n=1,398】

地区別の住居形態については、戸建てが8割を超えているのが御所見、六会、長後地区となっています。賃貸の集合住宅は、善行及び湘南台地区で約35%の割合で、分譲の集合住宅は湘南大庭と明治の2地区で3割を超えています。



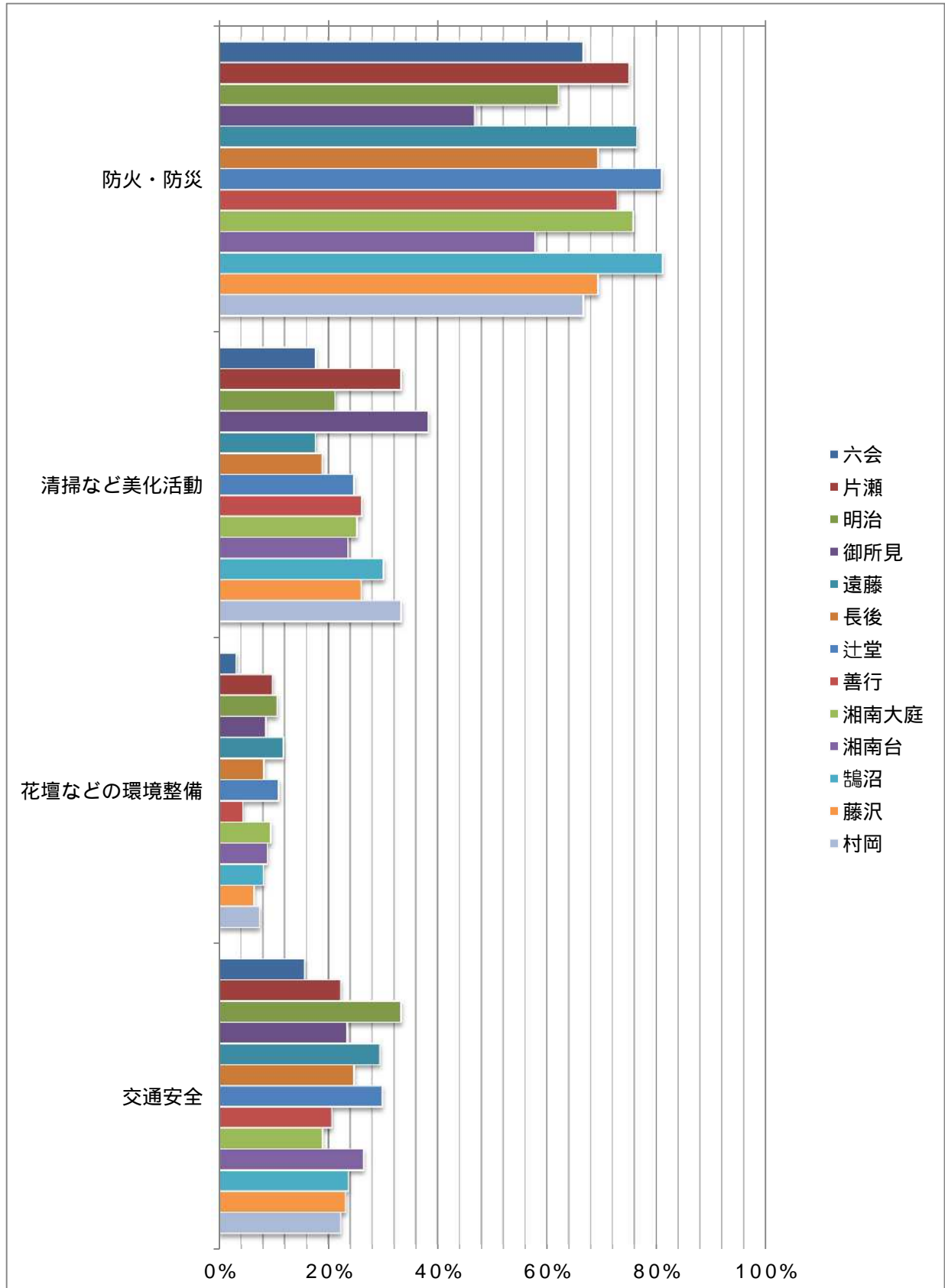
地区別近所との関わり方【n=1,387】

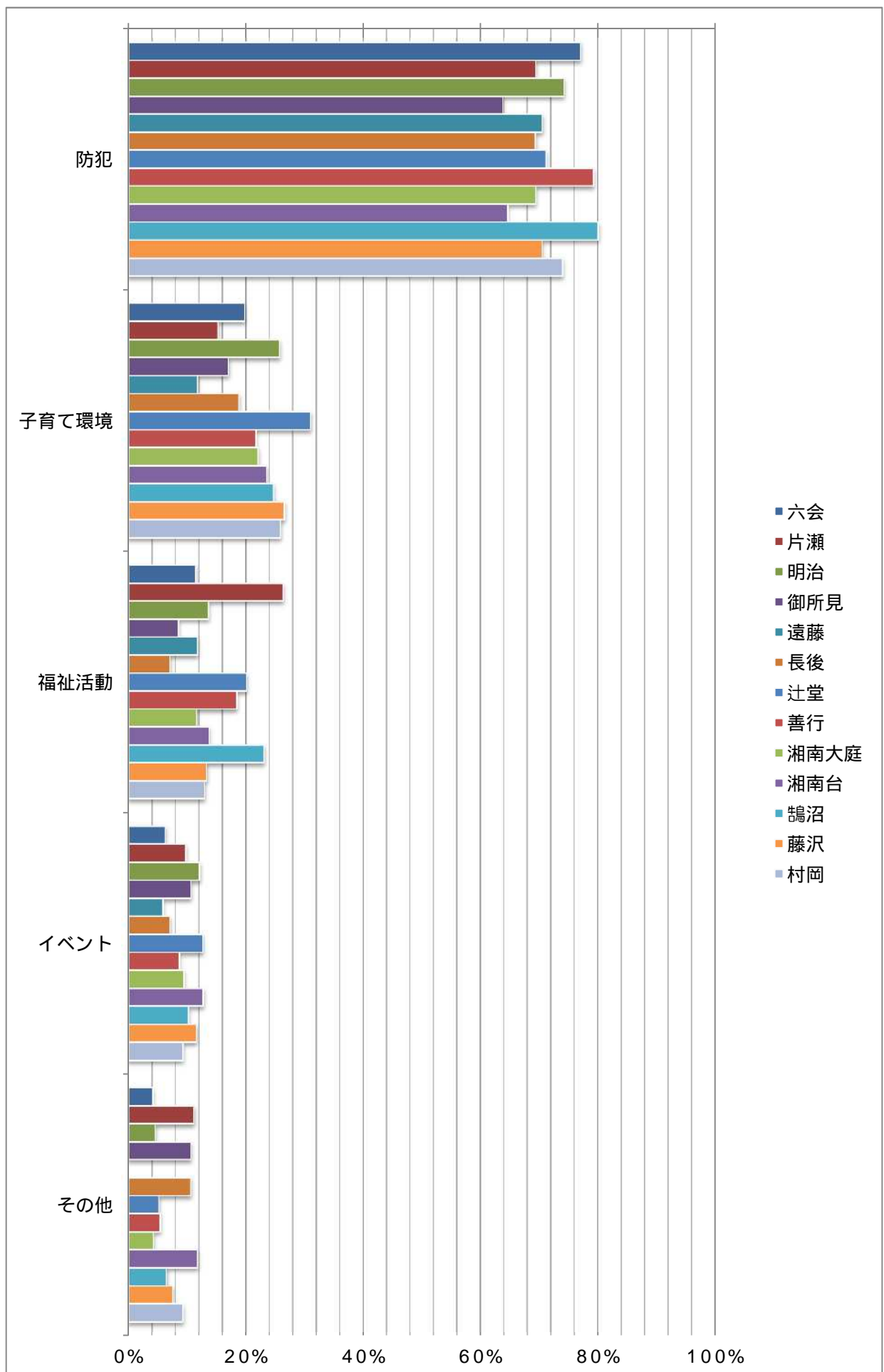
地区別の近所との関わり方では、頻繁に関わっていると回答した人が3割を超えているのが長後、明治、遠藤、御所見の4地区となっています。一方、湘南台地区に関しては、約15%の人が、誰が住んでいるかも知らないと回答していることが分かります。



地区別地域で気になること【n=1,330】

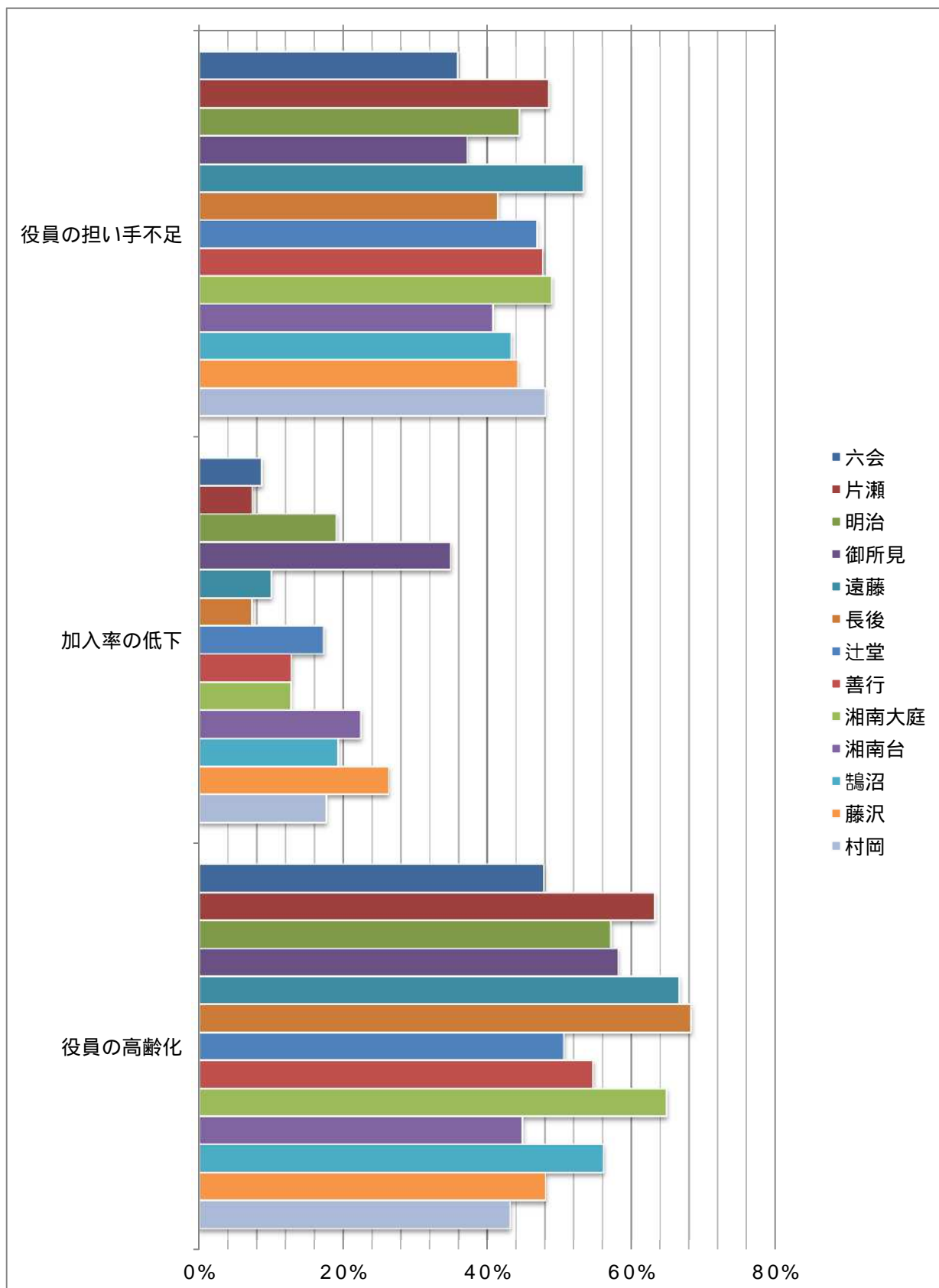
13地区別の地域で気になることにおいて、防火・防災については、海に近い辻堂及び鵜沼地区で80%を超える高い割合となっています。また、美化活動は御所見、交通安全は明治、子育て環境は辻堂、福祉活動は片瀬といった地区で比較的高い関心を持っていることが分かります。

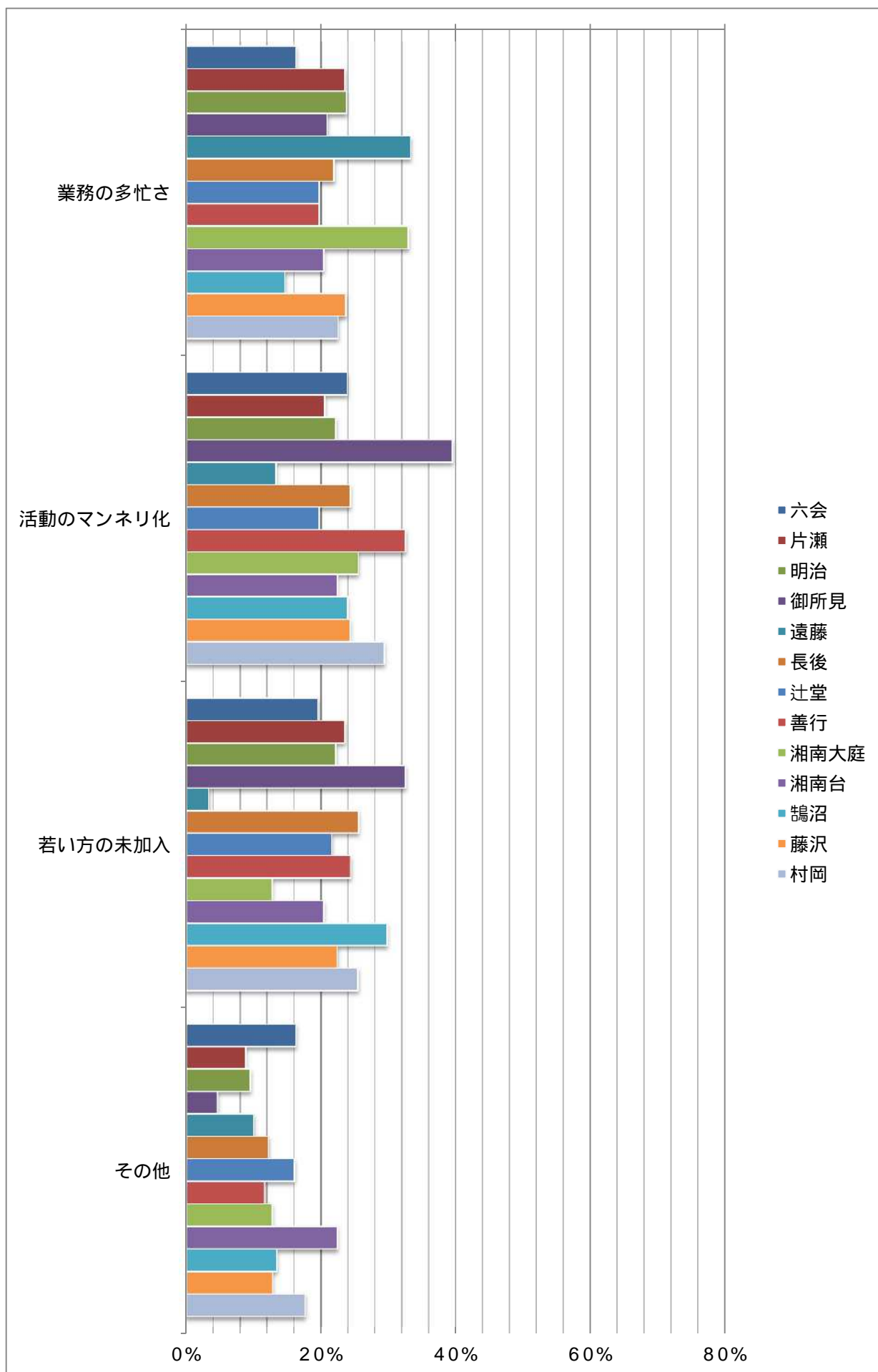




地区別自治会・町内会の課題【n=1,247】

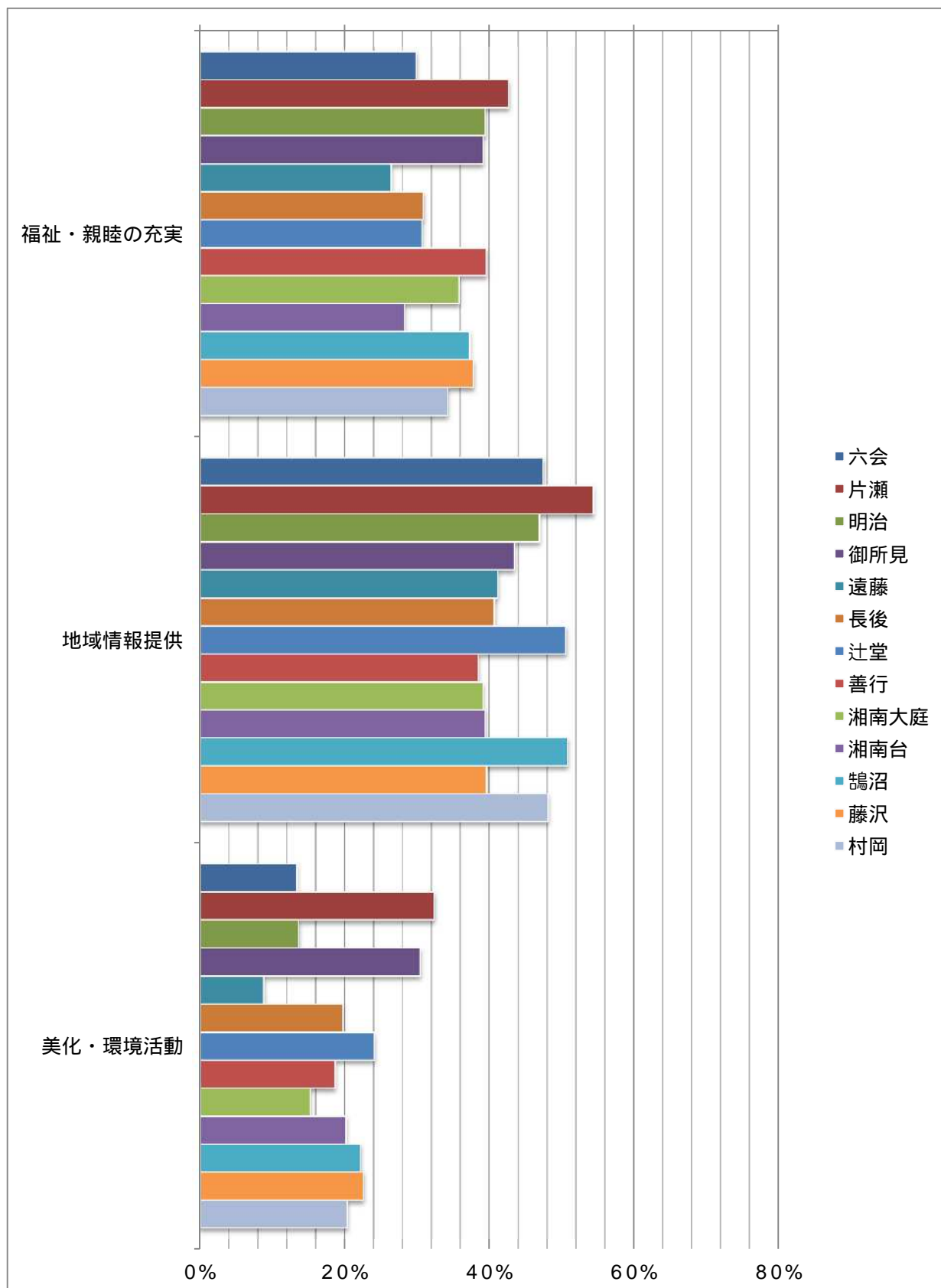
自治会・町内会の課題を地区別に見ると、長後、遠藤、湘南大庭、片瀬の4地区で役員の高齢化と回答した人が6割を超えています。また、本アンケートにおいて自治会・町内会に加入している人の割合が比較的低かった地区でも、加入率の低下についてあまり大きく課題だと感じていないことが分かります。

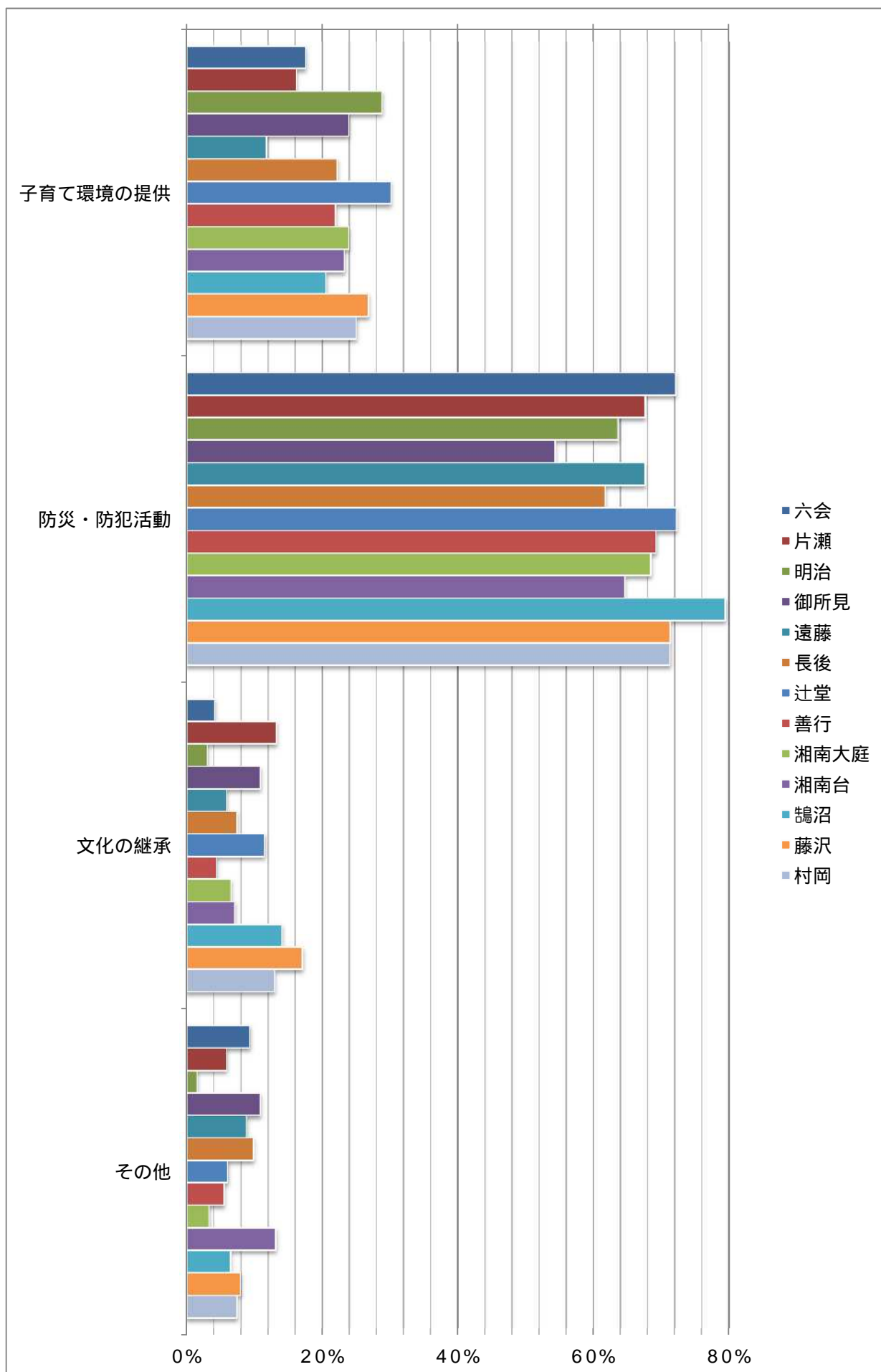




地区別自治会・町内会に期待すること【n=1,297】

地区別の自治会・町内会に期待することに関しては、鵜沼地区においては防災・防犯活動に期待している人が約8割と、かなり高い割合であることが分かります。また、片瀬、鵜沼、辻堂の3地区で5割以上の人地域情報提供と回答しています。

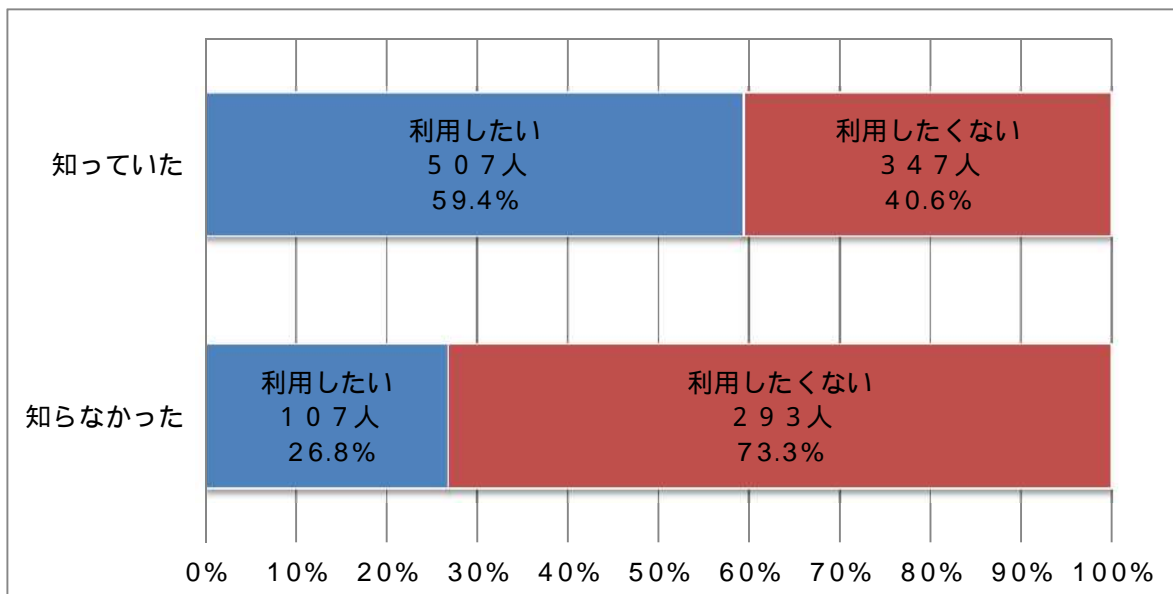




(4) 市民の家関係集計

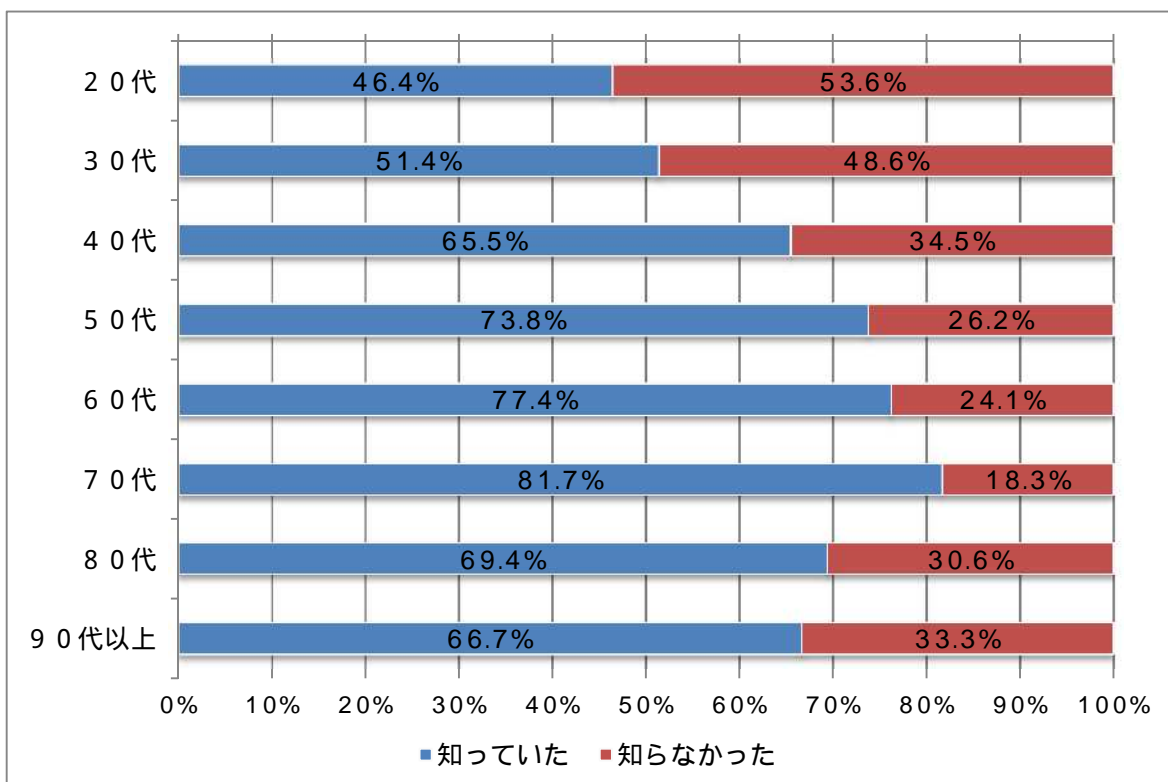
市民の家認知別今後の利用への希望【n=1,254】

市民の家を今後利用したいかどうかについて、市民の家を知っていた人は6割近くが利用したいと回答しているのに対し、知らなかった人で利用したいと回答した割合は30%以下となっています。



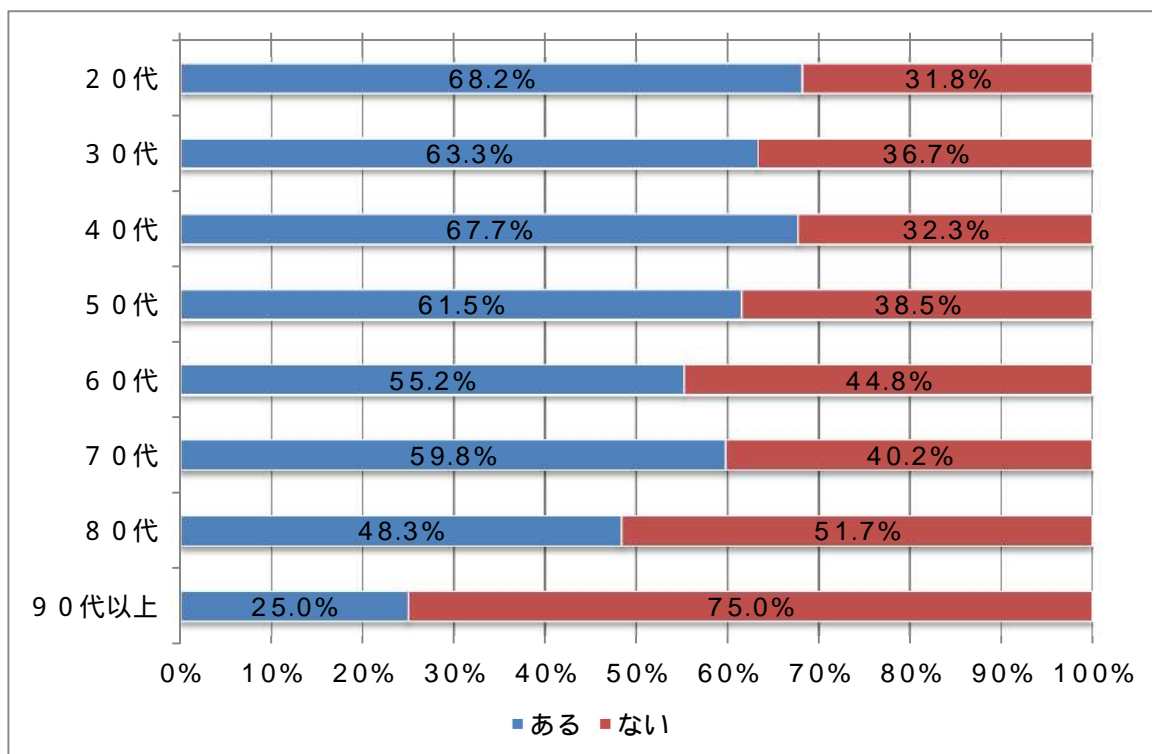
年齢別市民の家認知度【n=1,365】

市民の家の年齢別認知度については、80代・90代以上を除き、基本的に年齢が高くなるにつれ認知度もあがっており、特に70代に関しては、8割を超える高い割合で認知されていることがわかります。



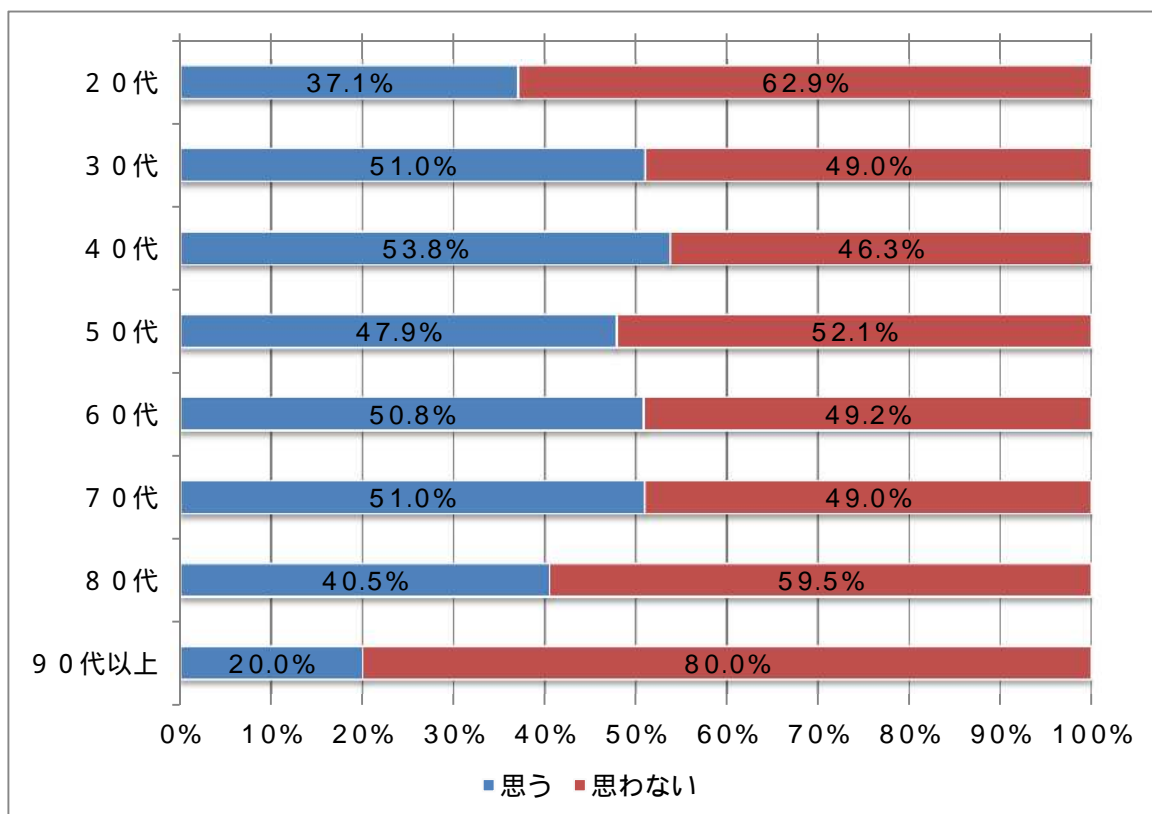
年齢別市民の家利用経験の有無【n=935】

各年齢の市民の家利用経験を見ると、市民の家を認知している人においては、40代以下の若い世代のほうが利用の経験があるということが分かります。



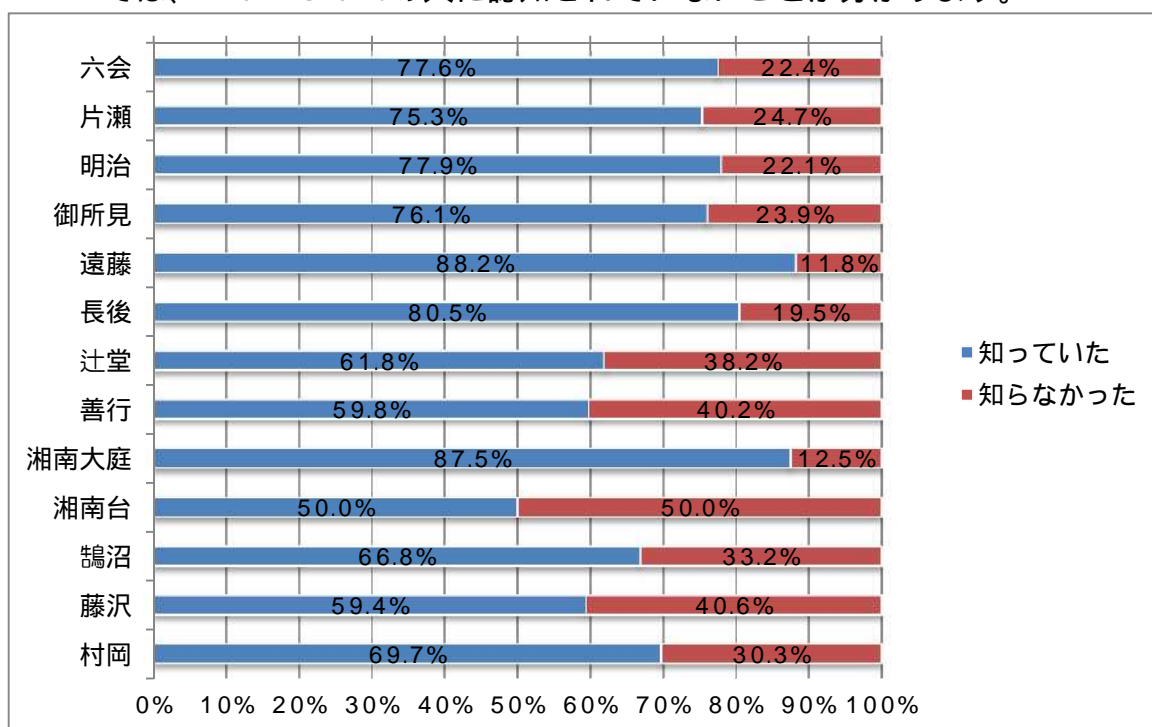
年齢別市民の家利用の希望【n=1,274】

市民の家を利用したいかどうかを年齢別に見ると、30～70代については、概ね50%程度の方が今後も利用したいと考えていることが分かります。



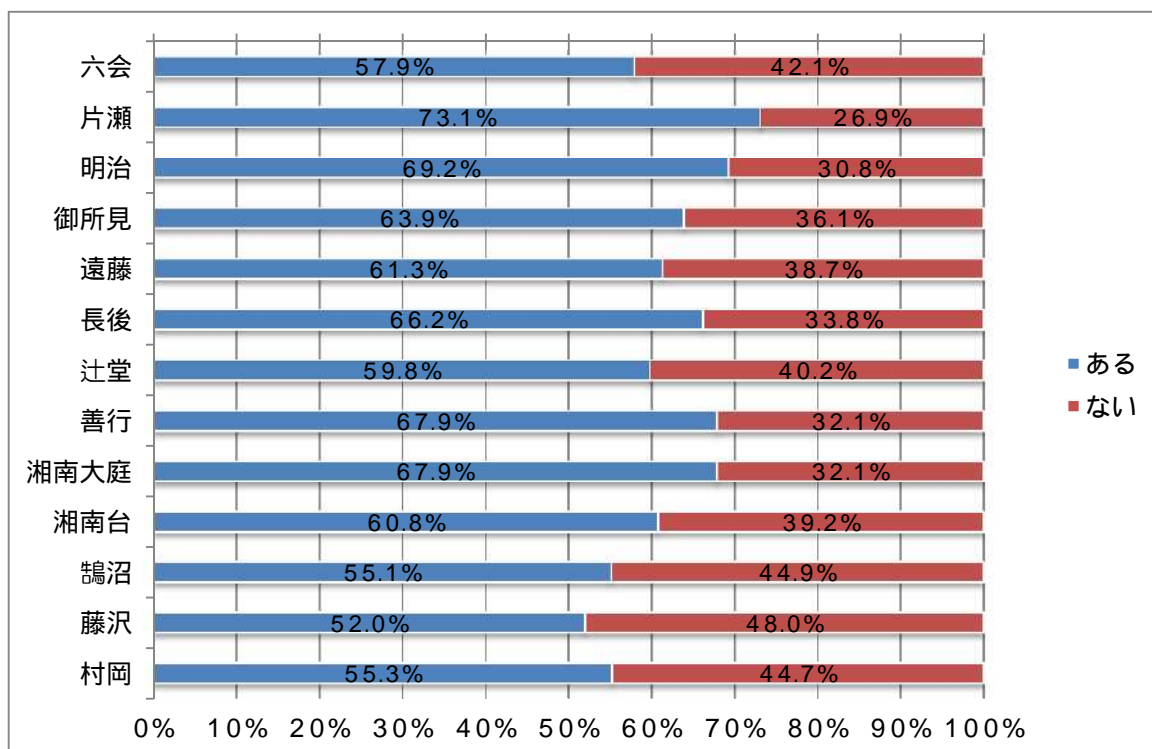
地区別市民の家認知度【n=1,343】

市民の家を知っているかどうかについて、遠藤と湘南大庭地区ではおよそ9割の人が知っていると回答しています。一方で、湘南台、藤沢、善行の3地区では、40～50%の人に認知されていないことがわかります。



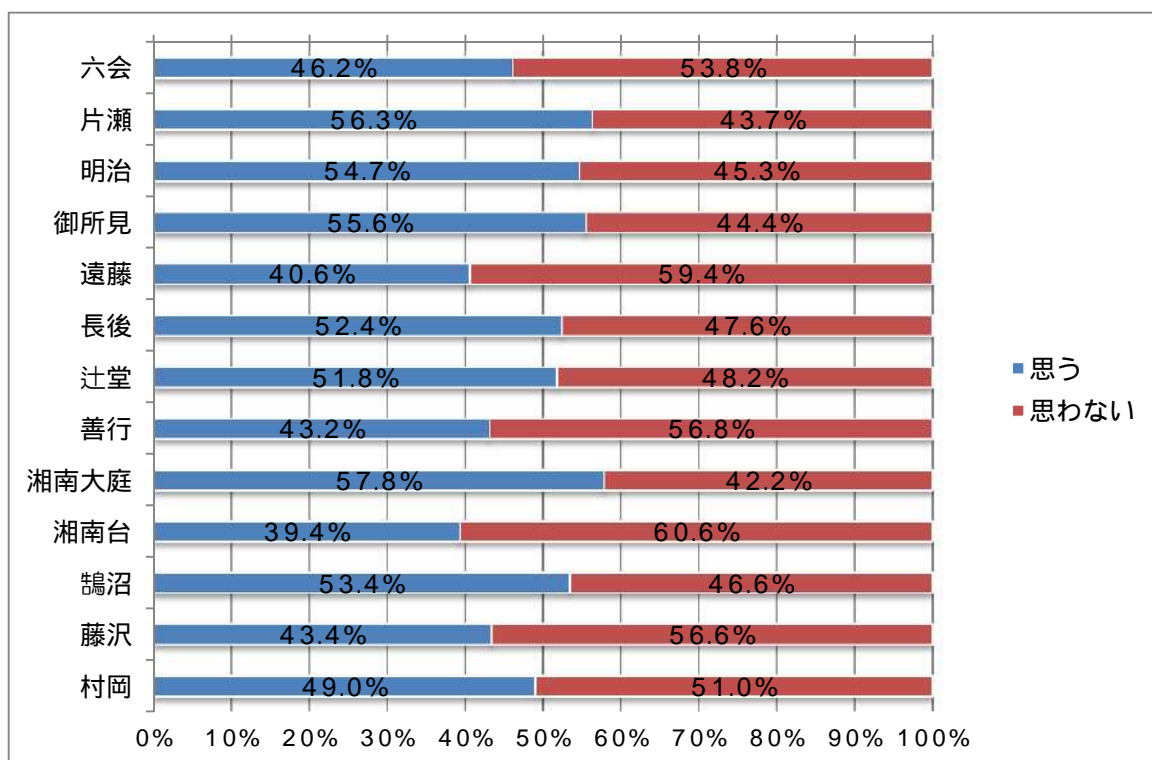
地区別市民の家利用経験の有無【n=921】

市民の家を知っている人の中での利用経験の有無に関し、地区別に見ると、片瀬地区では70%を超える人が利用したことがあり、明治、善行、湘南大庭、長後といった地区でも利用経験がある人が多くなっています。一方、藤沢地区では約半数が利用したことがないと回答しています。



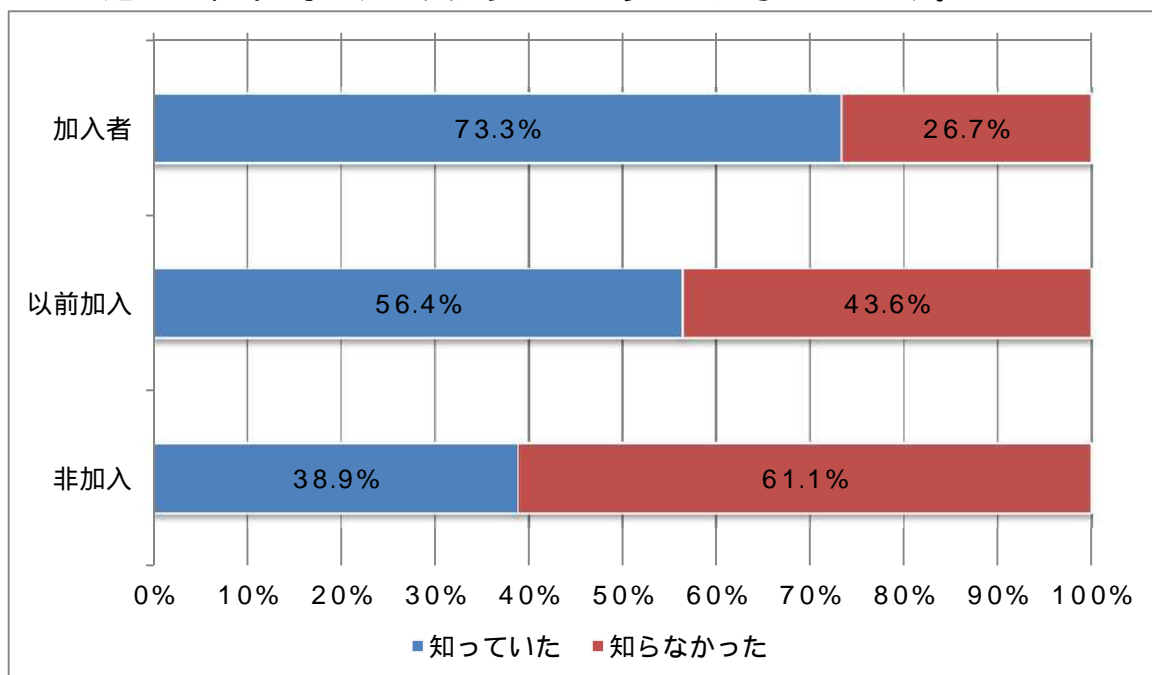
地区別市民の家利用の希望【n=1,251】

地区別の市民の家利用の希望については、湘南大庭、片瀬、御所見地区で利用したいと思うと答えた人が55%を超えていることが分かります。一方、湘南台及び遠藤地区では、約6割の人が利用したいと思わないと回答しています。



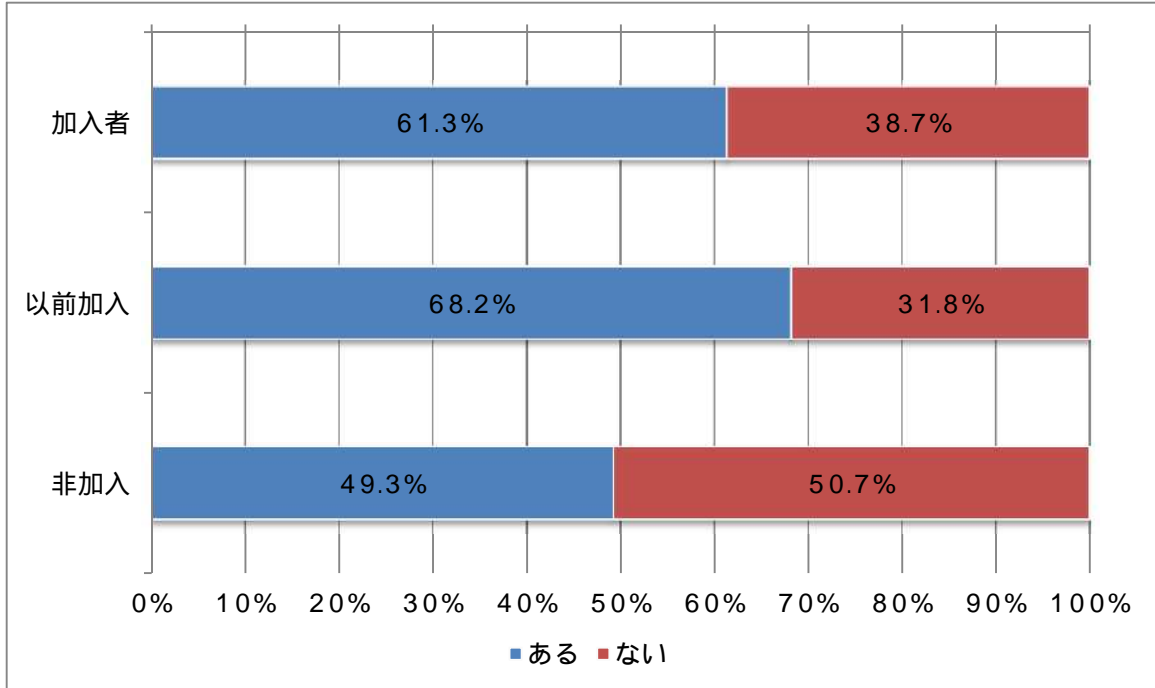
自治会・町内会加入別市民の家認知度【n=1,369】

市民の家の認知度について、自治会・町内会の加入別で見ると、加入者は7割を超える人が知っていたと回答しており、加入者と非加入者では認知度に約35%の開きがあることが分かります。このことから、自治会・町内会活動を通して市民の家を知る人が多いということが考えられます。



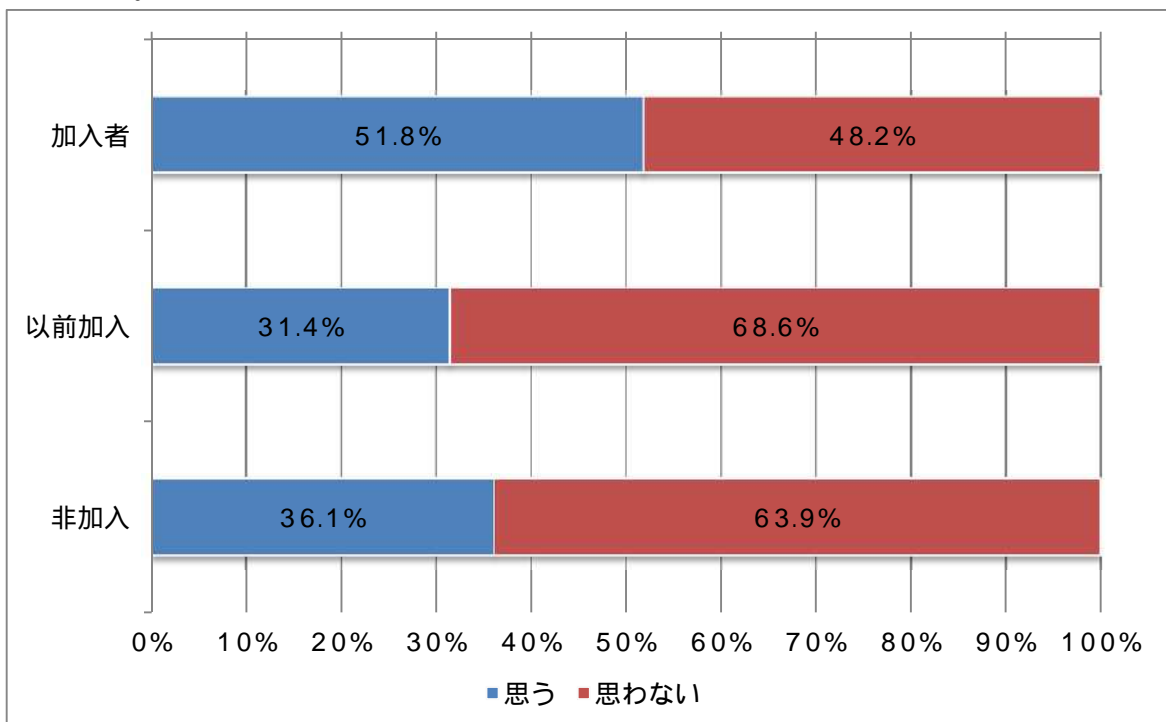
自治会・町内会加入別市民の家利用経験の有無【n=937】

市民の家を知っている人の中での利用経験について、自治会・町内会加入別で見ると、加入者及び以前加入していた人は60%以上が利用したことがあると回答していますが、非加入者は半数以上の人利用したことがないことが分かります。



自治会・町内会加入別市民の家利用の希望【n=1,275】

自治会・町内会加入別の市民の家利用希望について、自治会・町内会に入っていない人よりも、加入者のほうが利用したいと回答していることが分かります。



5 . 総 括

- ・自治会・町内会加入率について一般的に問題点とされる、若年層や単身世帯、賃貸の集合住宅居住者などの加入率が低いことが分かりました。
- ・自治会・町内会加入のきっかけについては、「隣人の声掛け」が最も多く次に「役員の勧誘」が続き、自治会・町内会未加入の理由についても「誘われなかった」が一番多い回答となっていることから、面と向かって行われる勧誘が、加入の促進に重要であると考えられます。
- ・地域で気になること及び自治会・町内会に期待することについて、ともに7割近くの人が防犯や防火、防災の活動と答えていることから、これからの自治会・町内会には、それらの活動を中心に据えたものとするあり方が求められているといえます。